ムーバ Pシリーズ データリンクソフト ver1.0

取扱説明書

● この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

● 「ムーバ Pシリーズ データリンクソフト」は、以下の動作環境でご使用ください。
- ・パソコン　:Pentium® 以上のプロセッサを搭載し、下記の OS が稼働するパーソナルコンピュータ（PC/AT 互換機のみ）
- ・OS　: Microsoft® Windows® 98,Windows Me，Windows 2000 Professional，Windows XP Professional / Home Edition（以下、Windows XP とします）
（上記すべてについては、以下、Windows とします）
- ・メモリ　: 64MB 以上を推奨（Windows XP は 128MB 以上を推奨）
- ・ハードディスク：空き容量 15MB 以上
- ・ディスプレイ：800 × 600 ドット　65,536 色以上表示可能なもの
- ・マルチメディア機能：着信音編集時のテスト再生には MIDI 再生機能が必要です。

「ムーバ Pシリーズ データリンクソフト」のご使用にあたって

- 「ムーバ Pシリーズ データリンクソフト」(以下、「データリンクソフト」とします)をご使用になる前に取扱説明書をよくお読みください。
- お客様ご自身でムーバ本体(以下、本体とします)およびパソコンに登録された情報内容は、バックアップをとるか、別にメモをとるなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、弊社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- データリンクケーブル(別売)または USB データリンクケーブル(別売)(以下、ケーブルとします)を使用して、本体とパソコンの間でデータの送受信を行っているとき以外は、本体をパソコンから遠ざけてください。
  パソコンの近くで本体が着信などの動作をしたとき、パソコンが誤動作するなどの影響を受ける場合があります。
- 指定のケーブル以外は、絶対に使用しないでください。
  ケーブルに添付されている取扱説明書もあわせてお読みください。

目　次

特　長

- 本体のメモリダイヤル（電話帳）やグループ名称のデータをパソコンに読み込んで、データの編集や保管ができます。
  またパソコンで編集したデータを再び本体に書き込むことができます。
- パソコンでメモリダイヤルやグループ名称のデータを新しく入力して、そのまま本体に書き込むことができます。
- 本体のｉモードメールやショートメールをパソコンに読み込んで、メールの編集や保管ができます。
  またパソコンで新たに作成したメールや編集したメールを再び本体に書き込むことができます。
- パソコンで新たに作成したメロディ着信音を本体に書き込むことができます。
  また本体のメロディ着信音をパソコンに読み込んで編集し、再び本体に書き込むことができます。
- パソコンで新たに作成したスクリーン画面を本体に書き込むことができます。
  また本体のスクリーン画面をパソコンに読み込んで編集し、再び本体に書き込むことができます。
- 本体のブックマークデータをパソコンに読み込んで、データの編集や保管ができます。
  またパソコンで編集したデータを再び本体に書き込むことができます。
- 本体のスケジュールデータをパソコンに読み込んで、データの編集や保管ができます。
  またパソコンで編集したデータを再び本体に書き込むことができます。
- 本体のユーザ辞書をパソコンに読み込んで、データの編集や保管ができます。
  またパソコンで編集したデータを再び本体に書き込むことができます。
- 本体のフリーメモデータをパソコンに読み込んで、データの編集や保管ができます。
  またパソコンで編集したデータを再び本体に書き込むことができます。
- 本体のカメラで撮影した画像（ピクチャ）をパソコンに読み込んで、保管ができます。
  またパソコンで作成した画像を本体に書き込むことができます。

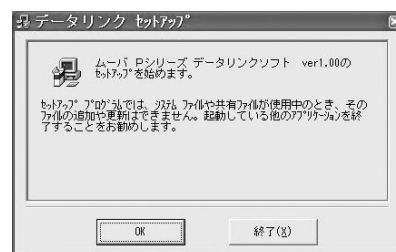
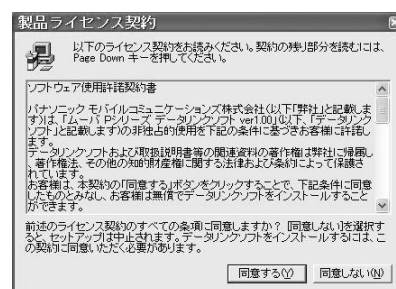
正しくご使用いただくために

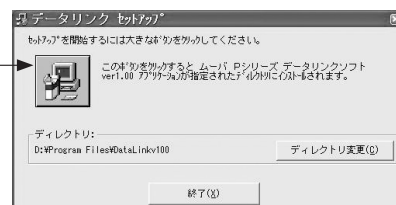
- メモリダイヤルの全データを転送しているときは、本体の発着信ができません。また、全データ転送中に本体やパソコンからコネクタを抜くと、本体に登録してあったすべてのメモリダイヤルとグループ名称のデータが消去されますので、ご注意ください。全データの転送を開始するときと、転送が完了したときには本体のディスプレイが点滅します。
- データ転送中は、本体のボタン操作をしないでください。データ転送中に本体のボタン操作を行った場合、データ転送が正常にできないことがあります。
- データ転送をするときは、十分に充電した電池パックを本体に装着して行ってください。また、データ転送中は本体から電池パックをはずさないでください。
  データ転送中に電池が切れたり、本体から電池パックをはずしたりした場合は、本体に登録してあったデータや転送したデータが失われることがあります。

「データリンクソフト」をセットアップする

セットアップのしかた

- 「データリンクソフト」を Windows 対応パソコンにセットアップします。
- セットアップの前に、「データリンクソフト」のセットアップファイルをホームページからダウンロードし、ファイルの解凍をしてください。
  ※ 解凍したファイルの保存先は、セットアップをするときに必要となりますので、控えておいてください。
- セットアップを開始する前に他のアプリケーションは終了させておいてください。

① 解凍したセットアップファイルの保存先にある「Disk1」フォルダの「Setup.exe」をダブルクリックすると、「データリンクセットアップ」の画面になります。
「OK」をクリックします。

② 「製品ライセンス契約」の画面になります。
画面に表示されている内容をお読みのうえ、［同意する］をクリックします。

③ ユーザー登録の画面になります。
名前と会社名を入力して、［OK］をクリックします。

④ セットアップ先のディレクトリを指定します。特にディレクトリを変更する必要がなければ、そのまま大きなボタンをクリックしてください。
※［ディレクトリ変更］をクリックすると、ディレクトリの変更ができます。

⑤［OK］をクリックします。

削除のしかた

- 「データリンクソフト」の削除は、Windows のアプリケーションの削除（プログラムの削除）のしかたと同じです。
  詳しくは、Windows のユーザーズマニュアルをご参照ください。

① タスクバーの［スタート］ボタンをクリックして［設定］の［コントロールパネル］を選択し、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。
② 「データリンクソフト」を選択し、［追加と削除］をクリックして、削除をしてください。

ご使用方法

「データリンクソフト」を起動する

① 「データリンクソフト」を起動するには、［スタート］ボタンをクリックして、［プログラム］の中にある「データリンクソフト」を選択します。
「データリンクソフト」が起動すると、下図のウィンドウが表示されます。

② 「機能選択」バーのメニューをクリックして、各機能ウィンドウを選択します。または、［表示］メニューから各機能を選択します。
※ メモリダイヤルデータやｉモードメールなどの読み込み、書き込みなどの操作のしかたは、［ヘルプ］メニューでもお読みいただけます。

● 本体とパソコンの間で初めてデータ転送を行うときは、必ず［設定］メニューで［通信設定］をしてから実行してください。
［通信設定］ボタンをクリックしても通信設定をすることができます。
［通信設定］では、
・本体で使用している暗証番号の入力
・本体とパソコンの接続方法の選択
・COM ポートの選択
を行います。
※ Windowsの設定（システムプロパティでの通信ポート）でビット / 秒、フロー制御等の設定は必要ありません。

● 登録できるデータ件数が本体と異なる場合がありますので、本体の取扱説明書もあわせてお読みください。

● 本体からデータを読み込んだときに画面で表示できない文字とパソコンで入力しても使用できない文字があります。詳細は［ヘルプ］メニューをご参照ください。

「データリンクソフト」を終了する

● 「機能選択」バーの「終了」をクリックします。または、［ファイル］メニューの［アプリケーションの終了］を選択します。

「データリンクソフト」の機能ウィンドウについて

- 「データリンクソフト」の機能ウィンドウには以下の種類があります。
  - ・「メモリダイヤル（電話帳）」
    メモリダイヤルやグループ名称などのデータの入力や編集を行います。
  - ・「メール」
    ｉモードメールやショートメールの入力や編集を行います。
  - ・「着信音」
    メロディ着信音の作成や編集を行います。
  - ・「スクリーン画面」
    スクリーン画面、アニメーションの作成や編集を行います。
  - ・「ブックマーク」
    ブックマークデータの入力や編集を行います。
  - ・「スケジュール」
    スケジュールデータの入力や編集を行います。
  - ・「ユーザ辞書」
    ユーザ辞書の入力や編集を行います。
  - ・「フリーメモ」
    フリーメモデータの入力や編集を行います。
  - ・「ピクチャ」
    画像（ピクチャ）の保管を行います。
- 機能ウィンドウで編集中に、別の機能ウィンドウに切り替えることができます。
  機能ウィンドウを切り替えるには、「機能選択」バーのメニューをクリックします。または、［表示］メニューから各機能を選択します。

メニュー、ボタンについて

- メニュー
  ①［ファイル］メニュー
  ファイルの読み込み、保存や印刷などをするときに選択します。
  ②［編集］メニュー
  データの編集などをするときに選択します。
  ③［表示］メニュー
  機能ウィンドウを切り替えるときに選択します。
  また機能ウィンドウに表示されているデータ一覧の項目の表示／非表示を切り替えるときに選択します。
  ④［ツール］メニュー
  データの検索や並べ替えなどをするときに選択します。
  また、データの編集をするときに使用するツールを選択するときに選択します。
  ⑤［通信］メニュー
  本体とパソコンの間でデータを転送するときや、本体のデータを消去するときに選択します。
  ⑥［設定］メニュー
  本体で使用している暗証番号の入力をするときに選択します。
  また、データ転送に使用する COM ポートを選択するときに選択します。
  ⑦［ヘルプ］メニュー
  パソコンの画面で「データリンクソフト」の使いかたを見たいときや「データリンクソフト」のバージョンを確認するときに選択します。
- ボタン
  データの編集、転送やファイルの保存、印刷などをするときに選択します。

メモリダイヤルデータやグループ名称データの編集をする

基本的な使用例

- 基本的な使用例の手順を記載します。
  データの入力のしかたは、それぞれの項目をご参照ください。

メモリダイヤルやグループ名称のデータを新しく作成して、本体に登録する

① 「メモリダイヤル」でメモリダイヤルデータを入力し、「グループ名称編集」でグループ名称データを入力します。
② ケーブルで本体とパソコンを接続し、本体の電源を入れます。
③ 「メモリダイヤル」で［通信］メニューの［パソコン⇒携帯電話］を実行して、本体にデータを書き込みます。

本体に登録しているメモリダイヤルやグループ名称のデータを編集して、再び本体に登録する

① ケーブルで本体とパソコンを接続し、本体とパソコンの電源を入れます。
② 「メモリダイヤル」で［通信］メニューの［携帯電話⇒パソコン］を実行して、パソコンにデータを読み込みます。
③ 「メモリダイヤル」でメモリダイヤルデータを編集し、「グループ名称編集」でグループ名称データを編集します。
④ 「メモリダイヤル」で［通信］メニューの［パソコン⇒携帯電話］を実行して、本体にデータを書き込みます。

「メモリダイヤル」のウィンドウについて

- メモリダイヤルデータの編集や並べ替え、検索などができます。またグループ名称データの編集ができます。
- 「メモリダイヤル編集」でメモリダイヤルの入力、編集を行います。
  「メモリダイヤル一覧」には、メモリダイヤルの内容が表示されます。
  ※ 「メモリダイヤル一覧」では、メモリ番号は「番号」欄に表示されます。
  また、電話番号 1～3 のアイコンは「Tel Icon 1～3」欄に、メール 1～3のアイコンは「Mail Icon 1～3」欄にそれぞれ表示されます。
  ※ メモリダイヤルデータに画像が登録されている場合、「リンク情報」に「有り」と表示されます。
  「リンク情報」は編集することができません。
- 「メモリダイヤル一覧」のメモリダイヤルデータを行毎に「行コピー」や「行削除」などの操作をすることができます。「メモリダイヤル一覧」の行を選択して、［編集］メニューまたはボタンから、操作を選択してください。
- 「メモリダイヤル」で入力できるのは、1000 件までです。

「メモリダイヤル編集」の入力のしかた

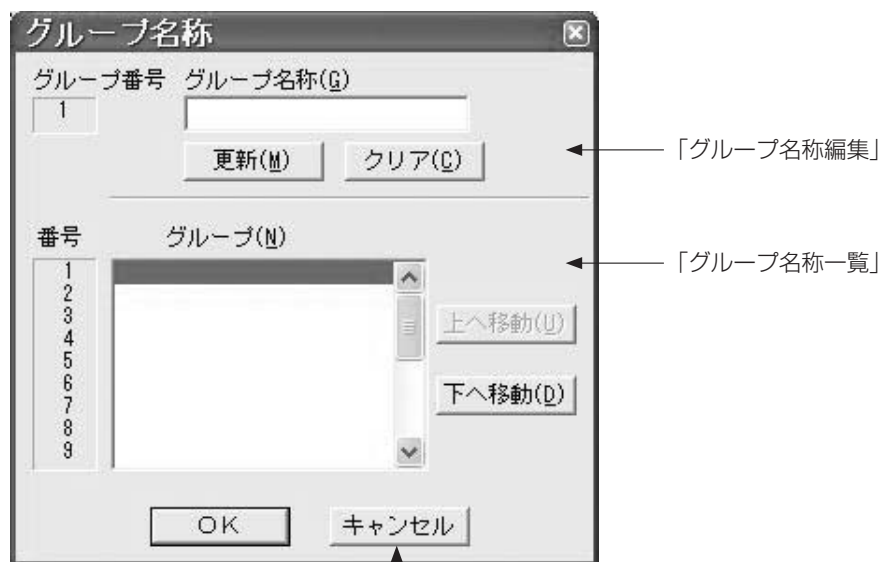
- 「メモリダイヤル編集」で入力したいメモリダイヤルデータの項目（入力欄）をクリックすると、入力できるようになります。キーボードの［Tab］キーを押すと次の項目に移動していきます。
- 電話番号やメールアドレスなどのデータを入力するときは、入力したいデータのタブをクリックすると入力欄が切り替わります。
- 「メモリダイヤル一覧」で編集したいメモリダイヤルデータの行をクリックすると、「メモリダイヤル編集」にデータが表示され、編集することができます。
  「メモリダイヤル一覧」では、キーボードの矢印キー［↑］または［↓］で、上下に移動することができます。
- メモリダイヤルデータをすべて入力したら、［追加］または［更新］をクリックします。
  ［追加］をクリックすると、「メモリダイヤル一覧」にデータを追加します。
  ［更新］をクリックすると、「メモリダイヤル一覧」で選択されていたデータを更新します。
- 「メモリダイヤル編集」の入力欄をすべて未入力の状態に戻したいときは、［クリア］をクリックします。
- ［グループ名称編集］をクリックすると、グループ名称データの編集ができます。

「グループ名称編集」の入力のしかた

- 「グループ名称一覧」で入力したいグループ名の行をクリックして、「グループ名称編集」の「グループ名称」欄をクリックすると、グループ名を入力できるようになります。
  「グループ名称一覧」では、キーボードの矢印キー［↑］または［↓］で上下に移動することができます。
- グループ名を入力したら、［更新］をクリックすると、「グループ名称一覧」の同じグループ番号のデータを更新します。
- 「グループ名称」欄を未入力の状態に戻したいときは、［クリア］をクリックします。
- 「グループ名称一覧」に表示されているグループ名の順番を変えることができます。移動したいグループ名を選択し、［上へ移動］または［下へ移動］をクリックすると、選択したグループ名が上下に移動します。

※ 「グループ名称一覧」では、グループ番号は「番号」欄に表示されます。
※ 「グループ 0」の名称は「未使用」から変更できないため、「グループ 0」のグループ名の入力はできません。
また「グループ名称一覧」にも表示されません。

- ここをクリックすると、何も実行しないで元に戻ります。

各欄の入力制限

- メモリ番号
  「000」～「999」までの 3 桁の半角数字のみ入力できます。
- 名前
  全角ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字のみのときは、12 文字まで入力できます。
  半角カタカナ、英字、数字のみのときは、24 文字まで入力できます。
- フリガナ
  半角カタカナ、英字、数字のみ 10 文字まで入力できます。
- 電話番号
  半角の数字と「#」「*」「P（ポーズ)」のみ 24 文字まで入力できます。
  必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号のアイコン
  アイコン欄右の［▼］をクリックして表示されるアイコンの中から選択してください。
- グループ
  グループ欄右の［▼］をクリックして表示されるグループの中から選択してください。
- シークレット
  シークレットの［□］をチェックして、シークレット、非シークレットを選択してください。
- 着信許可設定
  着信許可設定の［□］をチェックして、着信許可の設定をします。
- 着信拒否設定
  着信拒否設定の［□］をチェックして、着信拒否の設定をします。
- ノート
  全角ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字のみのときは、25 文字まで入力できます。
  半角カタカナ、英字、数字のみのときは、50 文字まで入力できます。
- メールアドレス
  半角英字、数字のみ 50 文字まで入力できます。
- メールアドレスのアイコン
  アイコン欄右の［▼］をクリックして表示されるアイコンの中から選択してください。
- シークレットコード
  4 桁の半角数字のみ入力できます。
  シークレットコードは、メールアドレスの先頭が電話番号（11 桁以上）の場合に設定できます。
- グループ名
  全角ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字のみのときは、6 文字まで入力できます。
  半角カタカナ、英字、数字のみのときは、12 文字まで入力できます。

「メモリダイヤル」での操作のしかた

- 本体とパソコンの間でデータ転送を行うときは、必ずケーブルで本体とパソコンを接続して、本体とパソコンの電源を入れてから実行してください。
- 「パソコン⇒携帯電話」「メモリダイヤル消去」のデータ転送中に「通信中」のウィンドウで［中断］をクリックして、データ転送を中断した場合でも、本体のメモリダイヤルなどのデータは元に戻りませんのでご注意ください。

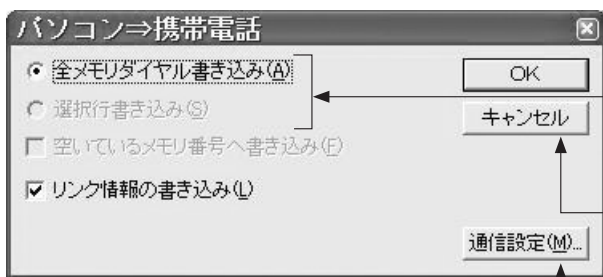
本体のメモリダイヤルなどのデータをパソコンに読み込む

① ［通信］メニューの［携帯電話⇒パソコン］を選択します。
　または、［携帯電話⇒パソコン］ボタンをクリックします。
② 「携帯電話⇒パソコン」のウィンドウが表示されます。
　（下図）
③ ［OK］をクリックすると、本体からメモリダイヤルなどのデータを読み込みます。

- ［携帯電話⇒パソコン］の操作をしたときに「メモリダイヤル一覧」にメモリダイヤルデータが表示されている場合は､「現在のファイルに追加する」の［□］をチェックすると、新たに読み込んだメモリダイヤルデータをすでに表示されているメモリダイヤルデータに追加することができます。
  ※「現在のファイルに追加する」をチェックした場合は､「読み込み位置」も選択してください。
  「読み込み位置」の「現在行へ」を選択するときは､「携帯電話⇒パソコン」のウィンドウを開く前に、「メモリダイヤル一覧」でメモリダイヤルデータを選択してください。

パソコンのメモリダイヤルなどのデータを本体に書き込む

① ［通信］メニューの［パソコン⇒携帯電話］を選択します。
　または、［パソコン⇒携帯電話］ボタンをクリックします。
② 「パソコン⇒携帯電話」のウィンドウが表示されます 。
　（下図）
③ 「全メモリダイヤル書き込み」または「選択行書き込み」を選択します。
　※ 「全メモリダイヤル書き込み」を選択すると、本体に登録されていたメモリダイヤルとグループ名称のデータをすべて削除して、新しいデータを書き込みます。
　※ 「選択行書き込み」を選択すると､「メモリダイヤル一覧」で選択しているメモリダイヤルデータのみを書き込みます｡「選択行書き込み」をするときは、「パソコン⇒携帯電話」のウィンドウを開く前に､「メモリダイヤル一覧」でメモリダイヤルデータを選択してください。
④ ［OK］をクリックすると、本体にメモリダイヤルなどのデータを書き込みます。
　※ 「リンク情報の書き込み」の［□］をチェックしてデータを書き込んだとき、本体のリンク情報と書き込むデータのリンク情報が同じ場合は、そのまま書き込みを行います。
　それぞれの「リンク情報」が異なる場合や書き込むデータが「リンク情報」なしの場合は、本体にもともと登録されていた「リンク情報」は消去されます。

※ 「選択行書き込み」を選択して「空いているメモリ番号へ書き込み」の［□］をチェックすると、本体の未登録メモリ番号の小さいものからデータの書き込みを行います。
※ メモリダイヤルデータの書き込みを行った場合、本体の着信許可メモリ、着信拒否メモリ、ボイスコマンドに登録した内容が変わってしまうことがあります。
　これらの設定をしている本体にメモリダイヤルデータの書き込みを行うときは、必ずメモリ指定着信許可、メモリ指定着信拒否の設定を解除してください。
　またメモリダイヤルデータの書き込みを行った後は、設定の再確認をしてください。
※ 「全メモリダイヤル書き込み」を行った場合、本体の着信許可メモリ、着信拒否メモリ、ボイスコマンドに登録したメモリダイヤル番号は、消去されます。
　これらの設定をしている本体に「全メモリダイヤル書き込み」を行ったときは、再度設定をしなおしてください。

本体のメモリダイヤルなどのデータを消去する

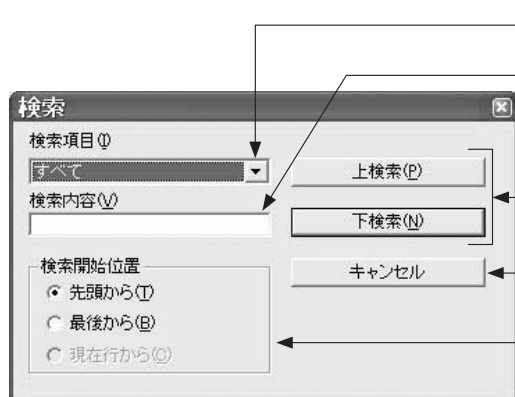
① ［通信］メニューの［メモリダイヤル消去］を選択します。
② 「メモリダイヤル消去」のウィンドウが表示されます。
　（下図）
③ ［OK］をクリックすると、本体のメモリダイヤルなどのデータを消去します。
※ 一度消去したデータは、元に戻すことができませんので、ご注意ください。

メモリダイヤルデータを並べ替える

① ［ツール］メニューの［並べ替え］を選択します。
② 「並べ替え」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「最優先される項目」「昇降順」を選択します。
必要であれば、「2 番目に優先される項目」「昇降順」も選択します。
④ ［OK］をクリックすると、指定の順番で並べ替えを行います。

● 「メモリダイヤル一覧」の「名前」「フリガナ」などの見出しをクリックすると、その項目で並べ替えを行うことができます。並べ替えの順番（昇順、降順）は、1 回クリックするごとに、切り替わります。
※ 「グループ番号順」で並べ替えたとき、同じグループ番号の中での並び順は、並べ替えを実行する前の順番と同じになります。また「シークレット順」で並べ替えたときも同様にシークレット・非シークレットの中での並び順は、並べ替えを実行する前の順番と同じになります。
※ 並べ替えを実行したときの並び順は、本体で並べ替えた場合と異なることがあります。

メモリダイヤルデータを検索する

① ［ツール］メニューの［検索］を選択します。
② 「検索」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「検索項目」を選択して、「検索内容」を入力します。
④ 「検索開始位置」を選択します。
⑤ ［上検索］をクリックすると検索開始位置から上方向に、［下検索］をクリックすると検索開始位置から下方向に検索を行います。
⑥ 「メモリダイヤル一覧」の最初に該当するメモリダイヤルの行が反転表示されます。
⑦ 続けて検索を行うときは、［上検索］または［下検索］をクリックしてください。
※ 「検索」のウィンドウを閉じた後も、最後に行った検索内容で検索を行うことができます。
［ツール］メニューの［下検索］を選択すると、現在選択されている行の次の該当データが反転表示されます。
［ツール］メニューの［上検索］を選択すると、現在選択されている行の 1 つ前の該当データにもどります。
※ ［ツール］メニューの［重複データ検索］を選択すると、「メモリダイヤル一覧」の電話番号が重複しているデータをすべて反転表示します。

メモリダイヤルデータを置換する

- メモリダイヤルに登録されている文字列を検索して、別の文字列に置換します。

① ［ツール］メニューの［置換］を選択します。
② 「置換」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「置換項目」を選択して、「置換対象文字列」と「置換文字列」を入力します。
　※ 「置換項目」の「グループ」を選択した場合は、「置換対象グループ」「置換グループ」欄右の［▼］をクリックして表示されるグループから選択します。
　※ 「置換項目」の「シークレット」を選択した場合は、「シークレットにする」「シークレットを解除する」の［○］をクリックして選択します。
　「シークレットにする」を選択すると、「非シークレット」を検索して、「シークレット」に置換します。「シークレットを解除する」を選択すると、「シークレット」を検索して、「非シークレット」に置換します。
　※ 「置換項目」の「Tel Icon 1 ～ 3」「Mail Icon 1 ～ 3」を選択した場合は、「置換対象アイコン」「置換アイコン」欄右の［▼］をクリックして表示されるアイコンから選択します。
　※ 「置換項目」の「着信許可設定」「着信拒否設定」を選択した場合は、「設定する」「設定を解除する」の［○］をクリックして選択します。
④ 「置換方向」を選択して、［OK］をクリックすると、置換を行います。
　※ 「置換確認する」の［□］をチェックすると、置換対象文字列があるたびに置換するかどうかの確認を行います。

メモリ番号の自動振り直しをする

- 編集、並べ替えをしたメモリダイヤルデータがメモリ番号順に並んでいないとき、順番にメモリ番号を振り直します。

① ［ツール］メニューの［メモリ番号振り直し］を選択します。
② 「メモリ番号振り直し」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「振り直し範囲」を選択して、［OK］をクリックすると、メモリ番号の振り直しを行います。
　※ 振り直すメモリ番号を特定の数字から始めたいときは、「始まりの番号」に数字を入力します。
　「始まりの番号」を入力しないときは、メモリ番号「010」から番号の振り直しを行います。

※ 「メモリ番号振り直し」を実行すると、実行前のメモリ番号に戻すことはできませんのでご注意ください。
※ 本体のメモリダイヤルデータをパソコンに読み込み、データ編集や並べ替えを行って、「メモリ番号振り直し」を実行したとき、同じメモリダイヤルデータでも本体のメモリ番号と「メモリダイヤル」のメモリ番号が異なる場合があります。

メールの編集をする

基本的な使用例

- 基本的な使用例の手順を記載します。
  データの入力のしかたは、それぞれの項目をご参照ください。

送信メールを新しく作成して、本体に登録する

① 「メール」で送信メールを作成します。
② ケーブルで本体とパソコンを接続し、本体の電源を入れます。
③ 「メール」で［通信］メニューの［パソコン⇒携帯電話］を実行して、本体にデータを書き込みます。

本体の受信メールを編集して返信メールを作成し、本体に登録する

① ケーブルで本体とパソコンを接続し、本体とパソコンの電源を入れます。
② 「メール」で［通信］メニューの［携帯電話⇒パソコン］を実行して、パソコンにデータを読み込みます。
③ 「メール」で受信メールを編集して、返信メールを作成します。
④ 「メール」で［通信］メニューの［パソコン⇒携帯電話］を実行して、本体にデータを書き込みます。

「メール」のウィンドウについて

- ｉモードメールとショートメール（文字メッセージ）の編集ができます。
- 「メール」には次の３つの保管箱があります。
  操作する保管箱を切り替えるときは、それぞれの箱をクリックします。
  または、［表示］メニューから各保管箱を選択します。
  ・「受信箱」
  　本体で受信したメールを保管します。
  　「受信箱」の中の受信メール自体を編集することはできません。
  ・「送信箱」
  　本体から送信できるメールを保管します。
  ・「定型文」
  　メールを作成するときに使用できる自作の定型文を保管します。
- 「メール編集」でメールや定型文の入力、編集を行います。
  「メール一覧」にメールや定型文の内容が表示されます。
- 「メール一覧」のメールや定型文を行毎に「行コピー」や「行削除」などの操作をすることができます。
  「メール一覧」の行を選択して、［編集］メニューまたはボタンから、操作を選択してください。
- 「メール」で登録できるのは、次の件数です。
  ・「受信箱」……2,000 件
  ・「送信箱」……2,000 件
  ・「定型文」……500 件

※ 「保管箱」のデータは、ファイルに保存することができます。ファイル保存をする前に、［携帯電話⇒パソコン］で「同報一覧読み込み」を実行するか、「同報一覧編集」で同報一覧の編集を行った場合は、保存したファイルに同報一覧のデータが含まれます。

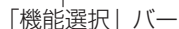
「メール編集」の入力のしかた

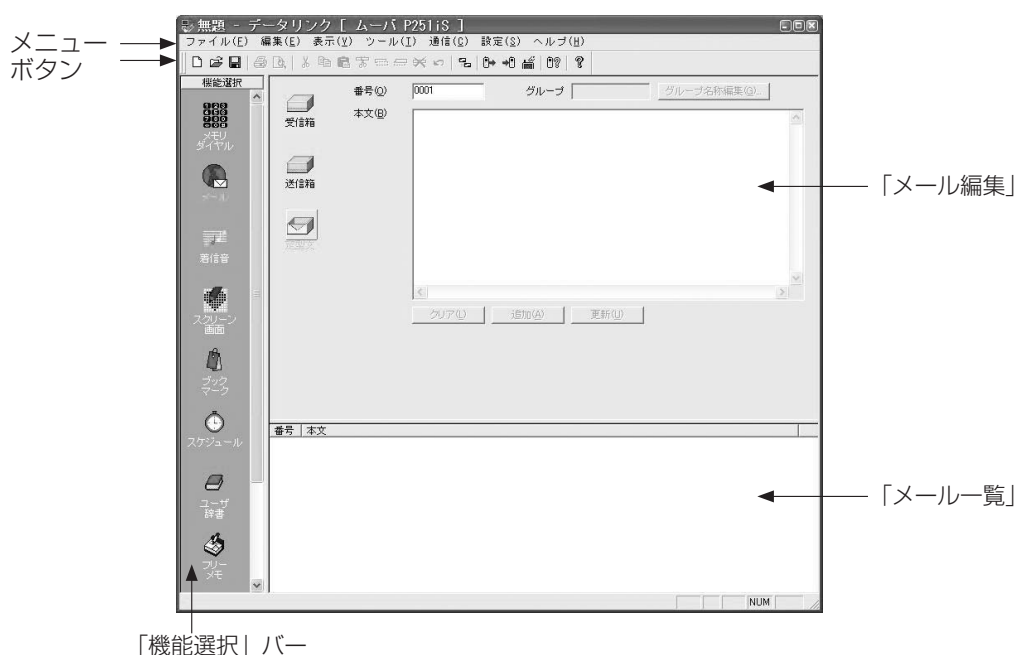
- 「メール編集」で入力したい項目（入力欄）をクリックすると、入力できるようになります。キーボードの［Tab］キーを押すと次の項目に移動していきます。
- 「メール一覧」では、キーボードの矢印キー［↑］または［↓］で、上下に移動することができます。
- ［設定］メニューの［引用記号の設定］を選択すると、返信または転送メールの本文の先頭につく引用記号を設定することができます。
  ※ 引用記号として設定できるのは、半角８文字または全角4文字までです。

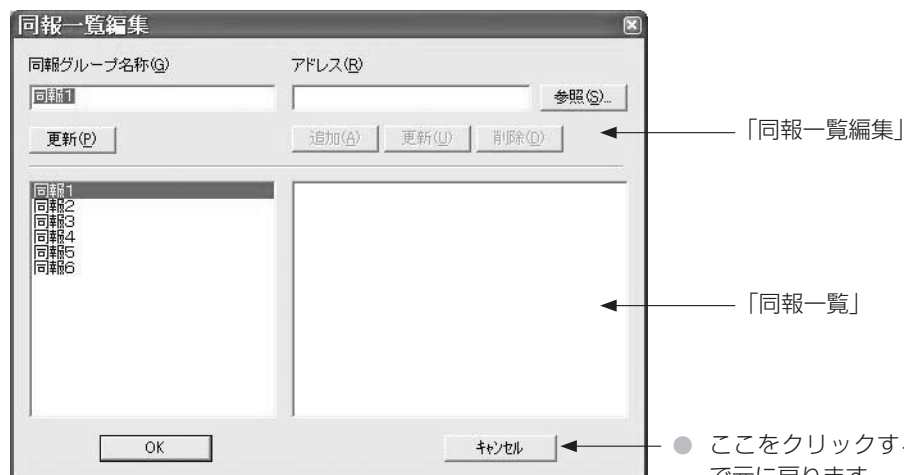
「受信箱」

- 「メール一覧」で受信メールをクリックすると、「メール編集」にデータが表示されます。
  このとき受信メールが未読であった場合は、既読にかわります。
- 「メール編集」にメールを表示して、［返信］または［転送］をクリックすると、そのメールは「送信箱」にコピーされ、送信メールとして編集することができます。
  このとき返信または転送したメールは、「メール一覧」の「返信／転送」欄に「返信済」または「転送済」と表示されます。
- 「メール編集」にメールを表示して［添付］をクリックすると、メールに添付されていたデータをファイルとして保存することができます。
- 保護の［□］をチェックすると、受信メールの保護、非保護を選択することができます。
- 受信メールが複数に分割されている場合、分割されたメールの順番が「分割番号」欄に表示されます。

「送信箱」

- 「メール一覧」で送信メールをクリックすると、「メール編集」にデータが表示され、編集することができます。
- ［アドレス］をクリックすると、「アドレス選択」ウィンドウが表示され、送信先のアドレスを選択することができます。アドレスは、「アドレス一覧」または「同報一覧」から選択してください。
  アドレスは、8 件まで設定することができます。
  「アドレス一覧」に表示される内容は、「データリンクソフト」で最後に更新したアドレス帳の内容となります。
  「アドレス一覧」を更新する場合は、「メモリダイヤル」に更新したい名前とメールアドレスの内容を含んだデータを表示して、［ツール］メニューの「ｉモードメール用アドレス帳の更新」を実行してください。
  ※ 「同報一覧」に内容を表示するには、「携帯電話⇒パソコン」で「同報一覧読み込み」を選択して実行するか、パソコンに保存していた同報一覧のデータを含んだメールのファイルを開きます。「同報一覧」のデータを編集するときは、［ツール］メニューの［同報一覧編集］を選択するか、［同報一覧編集］ボタンをクリックします。
- 「アドレス選択」ウィンドウでアドレスを選択した場合、アドレス一覧に登録されている名前が、名前欄に表示されます。
- 保護の［□］をチェックすると、送信メールの保護、非保護を選択することができます。
- 「メール編集」にメールを表示して、［転送］をクリックすると、そのメールはコピーされ、新しい送信メールとして編集することができます。
- 「メール編集」にメールを表示して、［添付］をクリックすると、そのメールに添付するファイルを選択することができます。
  ※ メールに添付できるのは、メロディ着信音（MFi データ）のファイルのみです。
  ※ メールにファイルを添付すると、本文で入力できる文字数が少なくなります。
  ※ 「メール編集」に表示されているメールにファイルが添付されている場合に［添付］をクリックすると、メールへのファイル添付を取り消すことができます。
- メールのデータをすべて入力したら、［追加］または［更新］をクリックします。
  ［追加］をクリックすると、「メール一覧」にメールを追加します。
  ［更新］をクリックすると、「メール一覧」で選択されていたメールのデータを更新します。
- 「メール編集」の入力欄を未入力の状態に戻したいときは、［クリア］をクリックします。

「定型文」

- 「メール一覧」で定型文をクリックすると、「メール編集」にデータが表示され、編集することができます。
- 定型文を入力したら、［追加］または［更新］をクリックします。
  ［追加］をクリックすると、「メール一覧」に定型文を追加します。
  ［更新］をクリックすると、「メール一覧」で選択されていた定型文を更新します。
- 「メール編集」の入力欄を未入力の状態に戻したいときは、［クリア］をクリックします。
- ［グループ名称編集］をクリックすると、グループ名称データの編集ができます。

「同報一覧編集」の入力のしかた

- 同報グループ名の編集をするときは、「同報一覧」で同報グループ名を選択して、「同報一覧編集」の「同報グループ名称」欄を入力し、「同報グループ名称」欄下の［更新］をクリックします。
- アドレスの編集をするときは、「同報一覧」で同報グループを選択してください。
  アドレスを追加する場合は、「同報一覧編集」の「アドレス」欄を入力し、［追加］をクリックします。
  「同報一覧」でアドレスを選択すると、「アドレス」欄にアドレスが表示され、編集することができます。
  編集したいアドレスを「同報一覧」で選択し、「アドレス」欄を入力して、［更新］をクリックすると、アドレスのデータを更新します。
  アドレスを削除する場合は、「同報一覧」でアドレスを選択し、［削除］をクリックします。
  アドレスを入力するときに、［参照］をクリックして表示される「アドレス一覧」のデータを選択して、「アドレス」欄に入力することができます。
- 「同報一覧」では、キーボードの矢印キー［↑］または［↓］で上下に移動することができます。

- ここをクリックすると、何も実行しないで元に戻ります。

「グループ名称編集」の入力のしかた

- 「グループ名称一覧」で入力したいグループ名の行をクリックして、「グループ名称編集」の「グループ名称」欄をクリックすると、グループ名を入力できるようになります。
  「グループ名称一覧」では、キーボードの矢印キー［↑］または［↓］で上下に移動することができます。
- グループ名を入力したら、［更新］をクリックすると、「グループ名称一覧」の同じ定型文番号のデータを更新します。
- 「グループ名称」欄を未入力の状態に戻したいときは、［クリア］をクリックします。
- 「グループ名称一覧」に表示されているグループ名の順番を変えることができます。移動したいグループ名を選択し、［上へ移動］または［下へ移動］をクリックすると、選択したグループ名が上下に移動します。

※ 「グループ名称一覧」では、定型文番号は「番号」欄に表示されます。

各欄の入力制限

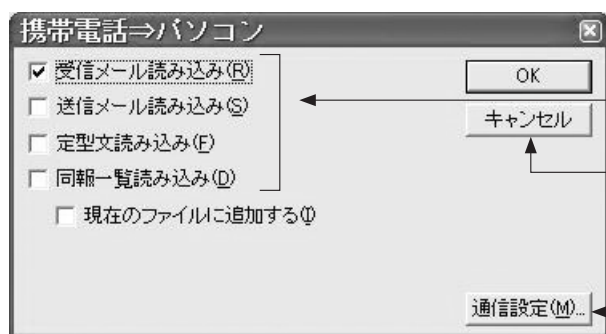
- 表題
  全角ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字のみのときは、15 文字まで入力できます。
  半角カタカナ、英字、数字のみのときは、30 文字まで入力できます。
- アドレス
  ひとつのアドレスにつき、半角英字、数字のみ 50 文字まで入力できます。
  複数のアドレスを入力する場合は、個々のアドレスを半角の「,」で区切ってください。
- 保護
  保護の［□］をチェックして、保護、非保護を選択してください。
- 本文（「送信箱」）
  全角ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字のみのときは、250 文字まで入力できます。
  半角カタカナ、英字、数字のみのときは、500 文字まで入力できます。
  ※ キーボードの［Enter］を入力した場合、全角入力のときは 1 文字分、半角入力のときは 2 文字分となります。
- 本文（「定型文」）
  全角ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字のみのときは、64 文字まで入力できます。
  半角カタカナ、英字、数字のみのときは、128 文字まで入力できます。
  ※ キーボードの［Enter］を入力した場合、全角入力のときは 1 文字分、半角入力のときは 2 文字分となります。
- 同報グループ名
  全角ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字のみのときは、7 文字まで入力できます。
  半角カタカナ、英字、数字のみのときは、14 文字まで入力できます。
- 定型文グループ名
  全角ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字のみのときは、7 文字まで入力できます。
  半角カタカナ、英字、数字のみのときは、14 文字まで入力できます。

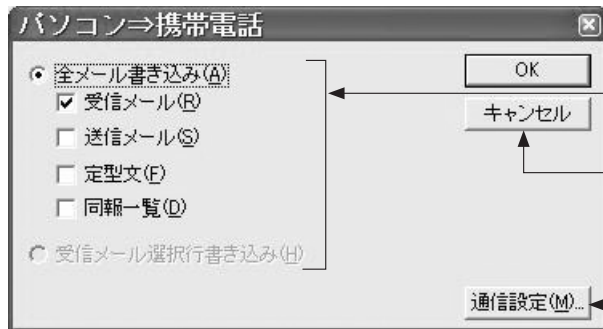
「メール」での操作のしかた

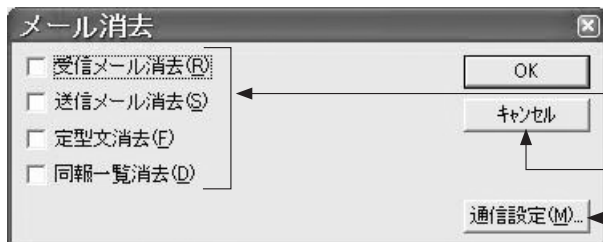
- 本体とパソコンの間でデータ転送を行うときは、必ずケーブルで本体とパソコンを接続して、本体とパソコンの電源を入れてから実行してください。
- 「パソコン⇒携帯電話」のデータ転送中に「通信中」のウィンドウで［中断］をクリックして、データ転送を中断した場合でも、本体メールや定型文のデータは元に戻りませんのでご注意ください。

本体のメールや定型文のデータをパソコンに読み込む

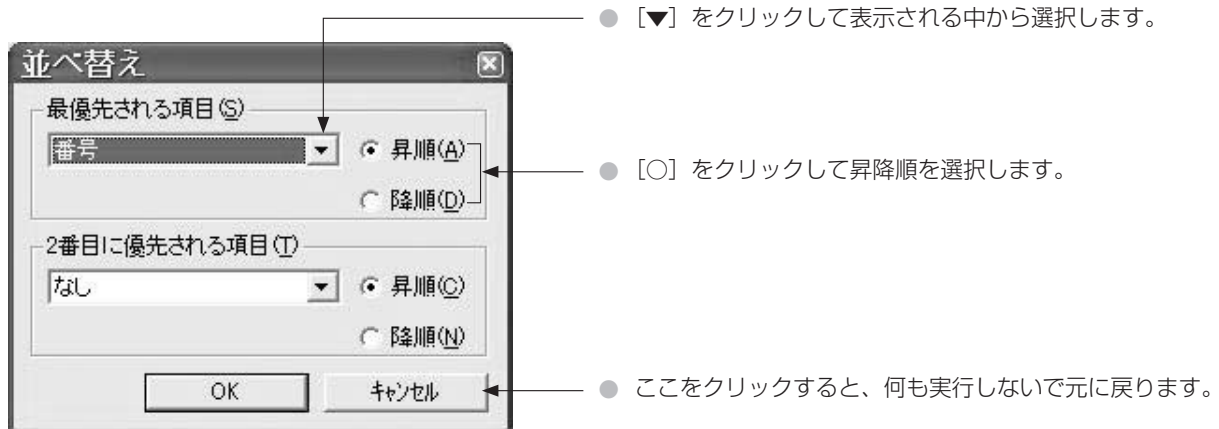
① ［通信］メニューの［携帯電話⇒パソコン］を選択します。
　または、［携帯電話⇒パソコン］ボタンをクリックします。
② 「携帯電話⇒パソコン」のウィンドウが表示されます。
　（下図）
③ 「受信メール読み込み」「送信メール読み込み」「定型文読み込み」「同報一覧読み込み」から読み込むデータを選択します。このとき、複数の項目を選択することもできます。
④ ［OK］をクリックすると、本体からデータを読み込みます。

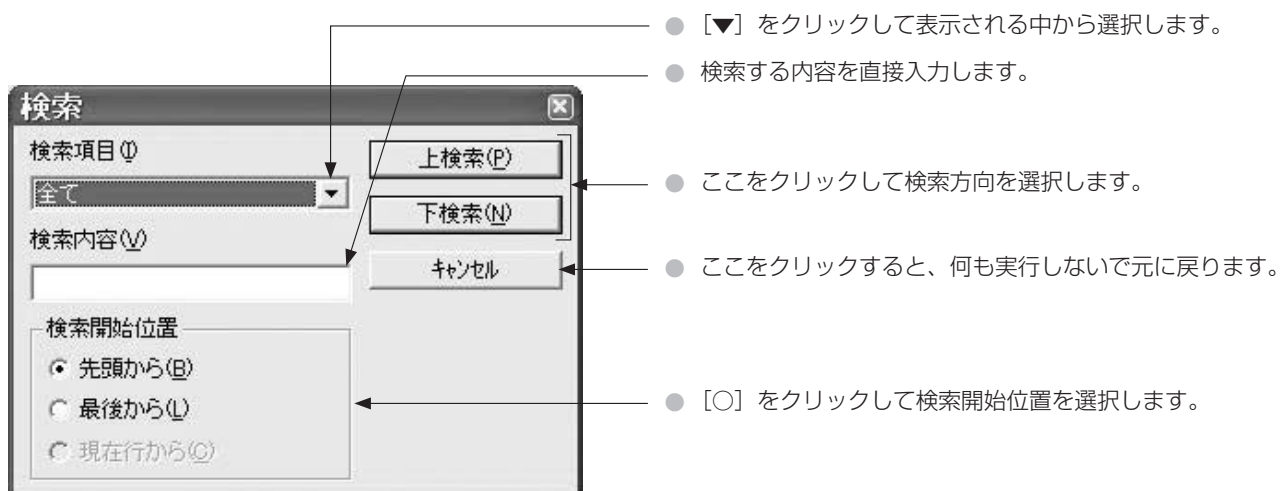
- ［携帯電話⇒パソコン］の操作をしたときに「メール一覧」にデータが表示されている場合は、「現在のファイルに追加する」の［□］をチェックすると、新たに読み込んだデータをすでに表示されているデータに追加することができます。このとき、「同報一覧読み込み」を選択することはできません。

パソコンのメールや定型文のデータを本体に書き込む

① ［通信］メニューの［パソコン⇒携帯電話］を選択します。または、［パソコン⇒携帯電話］ボタンをクリックします。
② 「パソコン⇒携帯電話」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「全メール書き込み」または「選択行書き込み」を選択します。
　※ メールの書き込みを実行すると、本体に登録されていたデータをすべて削除して、新しいデータを書き込みます。（例：「受信メール」を選択した場合、本体のすべての受信メールを削除して、新たに受信メールを書き込みます。）
　※ 「全メール書き込み」を選択した場合は、「受信メール」「送信メール」「定型文」「同報一覧」の［□］をチェックして、書き込むデータを選択してください。このとき、複数の項目を選択することもできます。
　※ 「選択行書き込み」を選択すると、表示されている「メール一覧」で選択しているデータのみを書き込みます。「選択行書き込み」をするときは、「パソコン⇒携帯電話」のウィンドウを開く前に、書き込みをする保管箱の「メール一覧」でデータを選択してください。
④ ［OK］をクリックすると、本体にデータを書き込みます。

本体のメールや定型文のデータを消去する

① ［通信］メニューの［メール消去］を選択します。
② 「メール消去」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「受信メール消去」「送信メール消去」「定型文消去」「同報一覧消去」から消去するデータを選択します。このとき、複数の項目を選択することもできます。
　※ 「受信メール消去」「送信メール消去」を選択すると、本体に登録されていた受信メールまたは送信メールをすべて消去します。
　「定型文消去」を選択すると、本体の定型文とグループ名称をすべて消去します。
　「同報一覧消去」を選択すると、本体の同報一覧のデータをすべて消去します。
④ ［OK］をクリックすると、本体のデータを消去します。
※ 一度消去したデータは、元に戻すことができませんので、ご注意ください。

メールや定型文のデータを並べ替える

① ［ツール］メニューの［並べ替え］を選択します。
② 「並べ替え」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「最優先される項目」「昇降順」を選択します。
　必要であれば、「2 番目に優先される項目」「昇降順」も選択します。
④ ［OK］をクリックすると、指定の順番で並べ替えを行います。

● 「メール一覧」の「番号」「日付」などの見出しをクリックすると、その項目で並べ替えを行うことができます。並べ替えの順番（昇順、降順）は、1 回クリックするごとに、切り替わります。
※ 並べ替えを実行したときの並び順は、本体で並べ替えた場合と異なることがあります。

メールや定型文のデータを検索する

① ［ツール］メニューの［検索］を選択します。
② 「検索」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「検索項目」を選択して、「検索内容」を入力します。
④ 「検索開始位置」を選択します。
⑤ ［上検索］をクリックすると検索開始位置から上方向に、［下検索］をクリックすると検索開始位置から下方向に検索を行います。
⑥ 「メール一覧」の最初に該当するデータの行が反転表示されます。
⑦ 続けて検索を行うときは、［上検索］または［下検索］をクリックしてください。
※ 「検索」のウィンドウを閉じた後も、最後に行った検索内容で検索を行うことができます。
　［ツール］メニューの［下検索］を選択すると、現在選択されている行の次の該当データが反転表示されます。
　［ツール］メニューの［上検索］を選択すると、現在選択されている行の 1 つ前の該当データに戻ります。

● 編集、並べ替えをしたデータが番号順に並んでいないとき、順番に番号を振り直します。

① ［ツール］メニューの［番号振り直し］を選択します。

② 「番号振り直し」のウィンドウが表示されます。（下図）

③ 「振り直し範囲」を選択して、［OK］をクリックすると、番号の振り直しを行います。

※ 振り直す番号を特定の数字から始めたいときは、「始まりの番号」に数字を入力します。
「始まりの番号」を入力しないときは、番号「1」から番号の振り直しを行います。

※ 「番号振り直し」を実行すると、実行前の番号に戻すことはできませんのでご注意ください。

※ 本体のデータをパソコンに読み込み、データ編集や並べ替えを行って、「番号振り直し」を実行したとき、同じ内容のデータでも本体のデータ番号と「i モードメール」の番号が異なる場合があります。

着信音の編集をする

基本的な使用例

- 基本的な使用例の手順を記載します。
  データの入力のしかたは、それぞれの項目をご参照ください。

メロディ着信音を新しく作成して、本体に登録する

① 「着信音」でメロディ着信音を作成します。
② ケーブルで本体とパソコンを接続し、本体の電源を入れます。
③ 「MFi 転送」にメロディ着信音のデータを表示し、[MFi パソコン⇒携帯電話] を実行して、本体にデータを書き込みます。

本体に登録しているメロディ着信音を編集して、再び本体に登録する

① ケーブルで本体とパソコンを接続し、本体とパソコンの電源を入れます。
② 「MFi 転送」で [MFi 携帯電話⇒パソコン] を実行して、パソコンにデータを読み込みます。
③ メロディ着信音のデータを編集します。
④ 「MFi 転送」にメロディ着信音のデータを表示し、[MFi パソコン⇒携帯電話] を実行して、本体にデータを書き込みます。

「着信音」のウィンドウについて

- メロディ着信音の編集ができます。
  ※ メロディ着信音入力画面では、メインメロディ、サブメロディ 1、サブメロディ 2 の 3 種類のメロディを入力することができます。
- 「着信音入力」でメロディの入力、編集を行います。
  「着信音表示」にメロディが表示されます。
- メロディ着信音入力画面の「着信音入力」右側に、メロディ着信音の曲名が表示されます。
- 各メロディには、音符と休符をあわせてそれぞれ 128 個まで使用することができます。

※ 作成した着信音をパソコンでテスト再生することができます。
パソコンでテスト再生したときのテンポ・音色は、本体の着信音のテンポ･音色とは異なります。着信音の最終確認は、本体で行ってください。
テスト再生をするためには、パソコンに MIDI 再生機能が必要です。

五線で入力する

- メロディ着信音入力画面は、縦方向に３つの別々の五線が並んでいます。上から順に、メインメロディ、サブメロディ 1、サブメロディ 2 となります。それぞれの五線に入力したメロディを３つ同時に再生します。

① 「着信音入力」の「音符」をクリックして選択します。または、キーボードから半角数字（1 ～ 5）を入力して選択します。次に「鍵盤」から音の高さを入力して、メロディを作成します。入力する音符は、「音符」をクリックして選択しなおすまで、同じものが選択され続けます。
「休符」をクリックすると、休符が入力されます。または、キーボードから半角数字（6 ～ 0）を入力すると、休符が入力されます。
音符に付点をつけたいときは、付点をつける音符を選択してから、「付点」をクリックしてください。または「付点」をクリックしてから、音の高さを入力すると、付点のついた音符を入力することができます。音符を三連符にしたいときは、三連符にする音符を３つ選択してから、「三連符」をクリックしてください。または「三連符」をクリックしてから、音の高さを３つ入力すると三連符を入力することができます。
※ 付点をつけることができるのは、「2分音符、4分音符、8分音符、2分休符、4分休符、8分休符」です。
また、三連符にできるのは、「4分音符、8分音符」です。

※ ［表示調整］ボタンをクリックすると、音符の音の長さに合わせて、五線譜の表示を行います。［表示調整］ボタンをクリックする毎に、五線譜の表示を切り替えます。または、［ツール］メニューの［表示調整］を選択します。

② ［設定］メニューの［曲名・テンポ・音色の設定］を選択すると、着信音の曲名を入力することができます。また着信音のテンポと着信音をパソコンでテスト再生するときの音色を選択することができます。
曲名を入力するときは、曲名欄をクリックしてください。曲名として入力できるのは、全角 25 文字または半角 50 文字までです。
テンポ欄右の［▼］、音色欄右の［▼］をクリックして選択してください。曲名は、「着信音入力」の一番右側に表示されます。

③ ［設定］メニューの［伴奏コード入力］を選択して、着信音の伴奏コードを入力することができます。
ジャンル選択欄右の［▼］をクリックして伴奏のジャンルを選択します。リズムをつける場合は、リズムありの［□］をチェックし、エコーをつける場合は、エコーの［□］をチェックしてください。
伴奏コードは、小節ごとに入力することができます。伴奏コードを入力するときは、「伴奏コード入力」ウィンドウ下部の「伴奏コード一覧」で入力する小節を選択してから、キー欄右とコードタイプ欄右の［▼］をクリックして選択してください。小節欄右の［▼］をクリックして、入力する小節を選択することもできます。
※ キーとコードタイプを変更するときは、「伴奏コード一覧」で変更する小節を選択して、キー欄とコードタイプ欄にデータを表示してから変更してください。
※ 「伴奏コード一覧」では、キーボードの矢印キー［↑］または［↓］で上下に移動することができます。

- 「着信音表示」の音符や休符を削除するときは、削除したい音符や休符を選択して、［削除］をクリックします。
- 「着信音表示」のメロディをすべて削除するときは、［全削除］をクリックします。
３つの五線毎にそれぞれのメロディをすべて削除することができます。削除したい五線にカーソルを移動してから、［パート削除］をクリックしてください。
- メロディの途中に音符を追加するときは、「着信音表示」で音符を選択して、「鍵盤」から音の高さを入力すると、選択していた音符の前に追加されます。
- 入力した音符の音の高さや長さを変えるときは、「着信音表示」で変えたい音符を選択し、［ツール］メニューから操作を選択すると変えることができます。
- ［テスト再生］をクリックすると、メロディをパソコンで再生することができます。［テスト再生］をクリックすると、３つのメロディをすべて再生します。
各メロディごとにテスト再生することができます。再生したいメロディの音符を選択して［パート再生］をクリックすると、選択していた範囲のみを再生します。音符を選択していないときは、カーソルのあるメロディの音符をすべて再生します。
再生するときの音色は、［設定］メニューの［曲名・テンポ・音色の設定］の音色欄で選択したものとなります。
音色の選択は、テスト再生時のみ有効です。音色欄に番号が表示されている場合は、MIDI 音源の番号です。ご使用のパソコンによって、再生できる音色の種類は異なります。

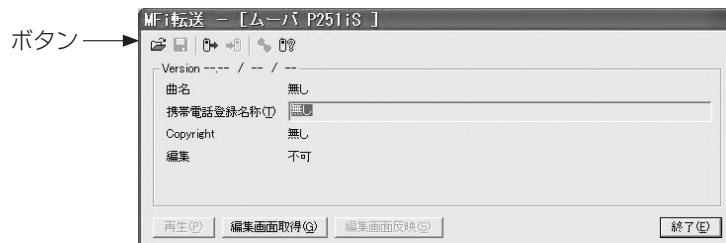
「着信音」での操作のしかた

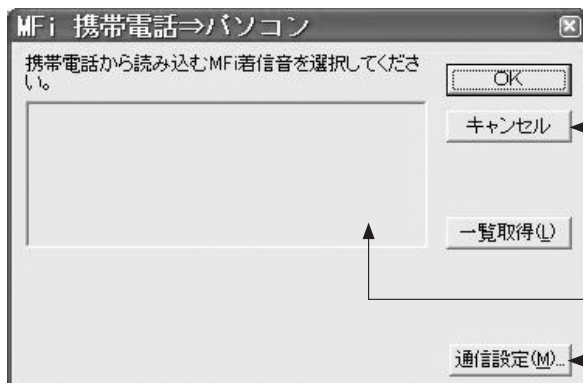
- 本体とパソコンの間でデータ転送を行うときは、必ずケーブルで本体とパソコンを接続して、本体とパソコンの電源を入れてから実行してください。
- 「着信音」でのデータ転送は、「MFi 転送」のウィンドウで行います。

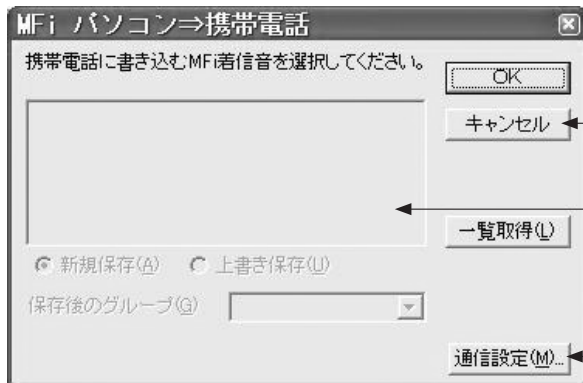
MFi データを転送する

- 本体に登録されているメロディ着信音（MFi データ）をパソコンに保存することができます。
  ※ MFi は、i モードのサイトからダウンロードしたメロディやメロディメールで受信したメロディなどのデータ形式です。
- 五線で入力したメロディ着信音を MFi データに変換することができます。
  また本体やデータリンクソフトで作成した MFi データのメロディ着信音を五線に表示することもできます。ただし、リズムなどを組み合わせて作成したメロディ着信音は、五線に表示することはできません。

① メロディ着信音入力画面で、［ツール］メニューの［MFi 転送］を選択します。または､[MFi 転送］ボタンをクリックします。
② 「MFi 転送」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ ボタンをクリックしてデータ転送の操作を選択します。

- パソコンや本体の MFi データを読み込んだとき、曲名や著作権情報などが表示されます。
- ［再生］をクリックすると、読み込んだ MFi データを再生することができます。
- ［編集画面取得］をクリックすると、五線に表示されているメロディを MFi データに変換します。
- ［編集画面反映］をクリックすると、MFi データのメロディを五線に表示します。

本体のメロディ着信音（MFi データ）をパソコンに読み込む

① ［MFi 携帯電話⇒パソコン］ボタンをクリックします。
② 「MFi 携帯電話⇒パソコン」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ ［一覧取得］をクリックすると､本体のメロディ着信音（MFi データ）の登録内容が表示されます。
  ※ ［一覧取得］を行ったら、データ転送を終了するまで本体とパソコンのケーブル接続ははずさないでください。
④ 本体から読み込むメロディ着信音を選択します。
⑤ ［OK］をクリックすると、本体からメロディ着信音を読み込みます。

パソコンのメロディ着信音（MFi データ）を本体に書き込む

① ［MFi パソコン⇒携帯電話］ボタンをクリックします。
② 「MFi パソコン⇒携帯電話」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ ［一覧取得］をクリックすると、本体のメロディ着信音（MFi データ）の登録内容が表示されます。
※ ［一覧取得］を行ったら、データ転送を終了するまで本体とパソコンのケーブル接続ははずさないでください。
④ 「新規保存」または「上書き保存」を選択し、「保存後のグループ」を選択します。
※ 「新規保存」を選択した場合は、「保存後のグループ」で選択したグループの未登録のメロディ着信音にデータを書き込みます。
※ 「上書き保存」を選択した場合は、本体の登録内容からメロディ着信音をクリックして選択してください。
このときメロディ着信音が保存されるグループは、「保存後のグループ」で選択したグループとなります。
⑤ ［OK］をクリックすると、本体にメロディ着信音を書き込みます。

スクリーン画面の編集をする

基本的な使用例

- 基本的な使用例の手順を記載します。
  データの入力のしかたは、それぞれの項目をご参照ください。

スクリーン画面を新しく作成して、本体に登録する

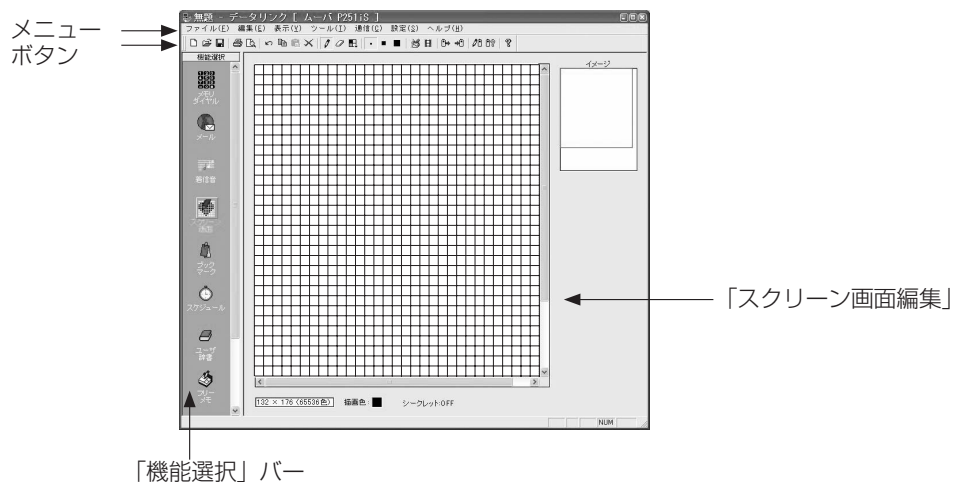
① 「スクリーン画面」でスクリーン画面を作成します。
② ケーブルで本体とパソコンを接続し、本体の電源を入れます。
③ 「スクリーン画面」で[通信]メニューの[パソコン⇒携帯電話]を実行して、本体にデータを書き込みます。

本体に登録しているスクリーン画面を編集して、再び本体に登録する

① ケーブルで本体とパソコンを接続し、本体とパソコンの電源を入れます。
② 「スクリーン画面」で[通信]メニューの[携帯電話⇒パソコン]を実行して、パソコンにデータを読み込みます。
③ 「スクリーン画面」でスクリーン画面を編集します。
④ 「スクリーン画面」で[通信]メニューの[パソコン⇒携帯電話]を実行して、本体にデータを書き込みます。

「スクリーン画面」のウィンドウについて

- スクリーン画面の編集ができます。
  またアニメーションの編集をすることもできます。
  アニメーションの編集は、「アニメーション編集」のウィンドウで行います。
- ※ アニメーションは、最大10枚までの静止画を1組にしたものです。
- 「スクリーン画面編集」でスクリーン画面の入力、編集を行います。
  「イメージ」に「スクリーン画面編集」で入力した画面の全体イメージが表示されます。
- 「スクリーン画面」でデータの読み込み、書き込みができるのは、本体の「ユーザ設定画面」（スクリーン画面）に対してです。
  ただし、本体のサブディスプレイに表示される「ユーザ設定画面」には、アニメーションを書き込むことはできません。
- ※ 「スクリーン画面編集」の画面の大きさは、［設定］メニューの［編集モード］から選択することができます。または、［編集モード］ボタンをクリックして表示される中から選択します。
  サブディスプレイの画面編集をする場合は、［編集モード］の「サブ」を選択してください。

「スクリーン画面」の入力のしかた

スクリーン画面を入力する

- 「スクリーン画面編集」でスクリーン画面を作成します。
- ［編集］メニューの［鉛筆］または［鉛筆］ボタンが選択されているとき、「スクリーン画面編集」の中で、マウスの左ボタンを押しながら、マウスポインタを動かすと、色を塗ることができます。
  ※ 色を変えるときは、［色選択］ボタンをクリックして表示される中から選択してください。または、「スクリーン画面編集」の下に表示されている［描画色］ボタンをクリックして表示される中から選択してください。
  色を消すには、マウスの右ボタンを押しながら、消したいところまでマウスポインタを動かします。
  ※ ［編集］メニューの［消しゴム］または［消しゴム］ボタンが選択されているときは、マウスの左ボタンが消しゴム、右ボタンが鉛筆の機能となります。
- ［編集］メニューの［線の太さ］を選択すると、書ける（消せる）線の太さを選択することができます。線の太さは、ボタンでも選択することができます。
- 「スクリーン画面編集」の格子を表示したくないときは、［表示］メニューの［グリッド表示］をクリックしてください 。［グリッド表示］をクリックする毎に、「スクリーン画面編集」の格子の表示、非表示が切り替わります。
- ［ツール］メニューの［ペイントツール起動］を選択すると、「ペイントソフト」でスクリーン画面の編集をすることができます。［ペイントツール起動］ボタンをクリックしても、「ペイントソフト」を起動することができます。
  ※ 「ペイントソフト」は、ビットマップファイルに関連づけされている画像処理ソフトです。
  ご使用のパソコンにより、「ペイントソフト」は異なります。
- 「スクリーン画面編集」の下に、スクリーン画面のシークレット設定の ON ／ OFF が表示されます。
  シークレット設定の ON ／ OFF を変更するときは、［設定］メニューの［スクリーン設定］を選択します。
  シークレットの［□］をチェックして、シークレット設定の ON ／ OFF を選択してください。

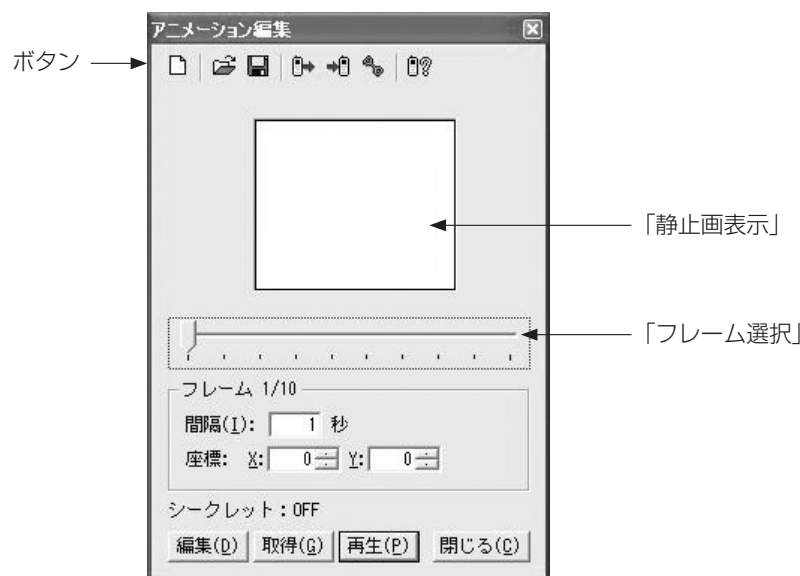
- アニメーションの編集は、「アニメーション編集」で行います。
  またアニメーションを構成する静止画は、「スクリーン画面編集」で編集します。
- 「アニメーション編集」でアニメーションに使用する静止画の順番や表示する時間の間隔を設定します。
- 「アニメーション設定」でアニメーションに使用する静止画のコマ数を設定します。
  アニメーションに使用できるのは、静止画 10 枚までです。
- 「静止画表示」にアニメーションの静止画が表示されます。
- 「フレーム選択」のスライダをクリックしながら動かすと、静止画のフレームが選択できます。

① ［ツール］メニューの［アニメーション編集］を選択します。
または、［アニメーション編集］ボタンをクリックします。

② 「アニメーション編集」のウィンドウが表示されます。
（下図）

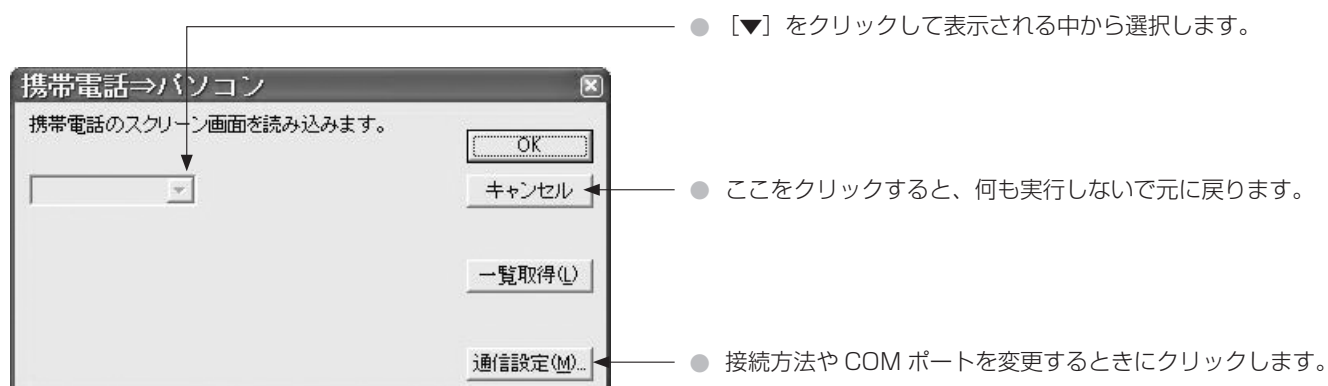
③ ［アニメーション設定］ボタンをクリックして、アニメーションに使用する静止画のコマ数とシークレット ON ／ OFF を設定します。
コマ数を入力するときは、コマ数欄をクリックしてください。
シークレット ON ／ OFF は、シークレットの［□］をチェックして選択してください。

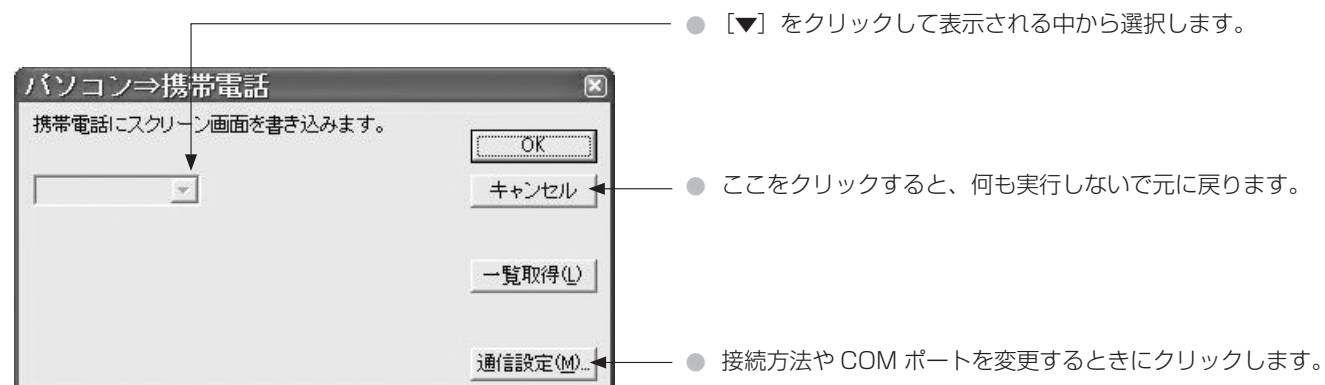
④ 「フレーム選択」のスライダで静止画のフレームを選択します。
アニメーションに使用する静止画を「スクリーン画面編集」に表示して、「アニメーション編集」の［取得］をクリックします。
※ 取得する静止画とアニメーションで使用できる静止画のサイズが異なる場合、「画像取得」ウィンドウが表示され、静止画の取得方法を選択することができます。
この手順を繰り返して、すべてのフレームを設定します。
※ 「静止画表示」に表示した静止画を編集したいときは、［編集］をクリックすると、「スクリーン画面編集」に静止画が表示されて編集をすることができます。
編集が終わったら、再度［取得］をクリックすると、編集した静止画を「静止画表示」に表示します。

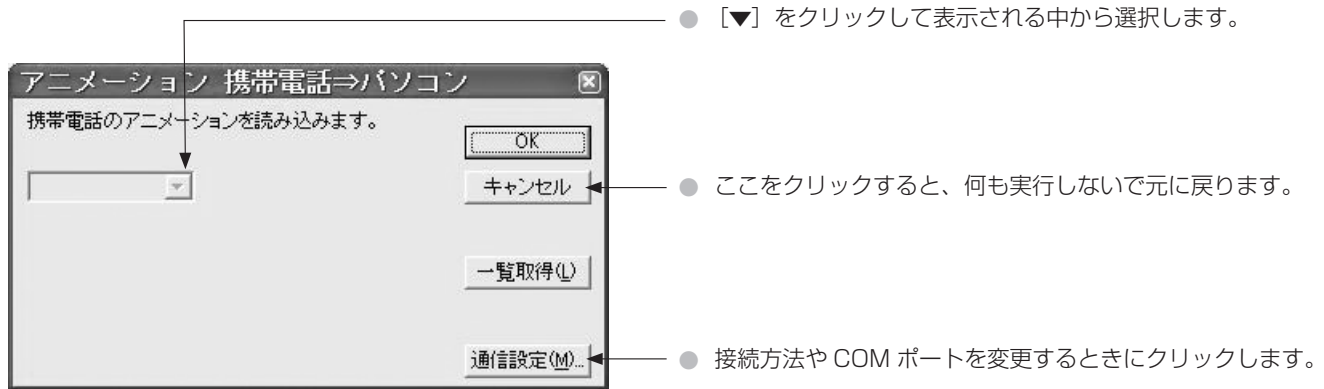
- 「フレーム」に「フレーム選択」で選択した静止画の情報が表示されます。
  「間隔」はアニメーションを再生したときに選択している静止画から次の静止画を表示するまでの時間です。
  「座標」は、表示している静止画の基準点の座標です。「静止画表示」に表示されている静止画を X 方向、Y 方向に移動するときに、X、Y の入力欄それぞれに直接数字を入力します。または、入力欄右の［▲］［▼］をクリックして数字を選択します。
  このとき、「静止画表示」に表示されている静止画は移動しますが、使用している静止画自体の位置が変わるわけではありません。
- 設定したアニメーションをパソコンで再生することができます。［再生］をクリックすると、アニメーションを再生します。
  アニメーションの再生を終了するときは、［停止］をクリックします。
  アニメーションをくり返し再生することができます。
  「アニメーション設定」のループ回数に、再生回数を設定してください。ループ回数を入力するときは、ループ回数欄をクリックしてください。

「スクリーン画面」での操作のしかた

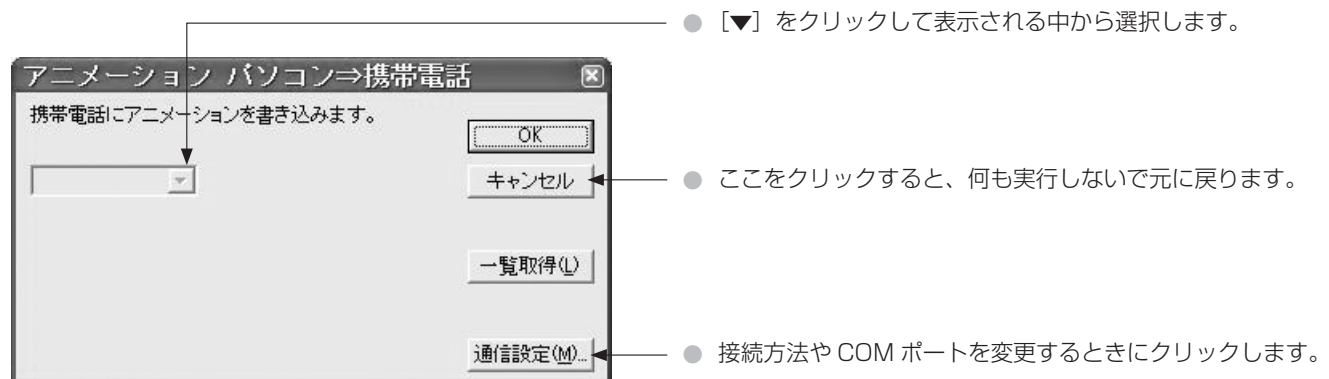
- 本体とパソコンの間でデータ転送を行うときは、必ずケーブルで本体とパソコンを接続して、本体とパソコンの電源を入れてから実行してください。

本体のスクリーン画面をパソコンに読み込む

① ［通信］メニューの［携帯電話⇒パソコン］を選択します。
　または、［携帯電話⇒パソコン］ボタンをクリックします。
② 「携帯電話⇒パソコン」のウィンドウが表示されます。
　（下図）
③ ［一覧取得］をクリックすると、本体のスクリーン画面の登録内容が表示されます。
　※ ［一覧取得］を行ったら、データ転送を終了するまで本体とパソコンのケーブル接続ははずさないでください。
④ 本体から読み込む画面を選択します。
⑤ ［OK］をクリックすると、本体からスクリーン画面を読み込みます。

パソコンのスクリーン画面を本体に書き込む

① ［通信］メニューの［パソコン⇒携帯電話］を選択します。
　または、［パソコン⇒携帯電話］ボタンをクリックします。
② 「パソコン⇒携帯電話」のウィンドウが表示されます。
　（下図）
③ ［一覧取得］をクリックすると、本体のスクリーン画面の登録内容が表示されます。
　※ ［一覧取得］を行ったら、データ転送を終了するまで本体とパソコンのケーブル接続ははずさないでください。
④ 本体の書き込み先の画面を選択します。
⑤ ［OK］をクリックすると、本体にスクリーン画面を書き込みます。

本体のアニメーションをパソコンに読み込む

① 「アニメーション編集」ウィンドウの［アニメーション携帯電話⇒パソコン］ボタンをクリックします。
② 「アニメーション携帯電話⇒パソコン」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ ［一覧取得］をクリックすると、本体のアニメーションの登録内容が表示されます。
※ ［一覧取得］を行ったら、データ転送を終了するまで本体とパソコンのケーブル接続ははずさないでください。
④ 本体から読み込むアニメーションを選択します。
⑤ ［OK］をクリックすると、本体からアニメーションを読み込みます。

パソコンのアニメーションを本体に書き込む

① 「アニメーション編集」ウィンドウの［アニメーションパソコン⇒携帯電話］ボタンをクリックします。
② 「アニメーションパソコン⇒携帯電話」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ ［一覧取得］をクリックすると、本体のアニメーションの登録内容が表示されます。
※ ［一覧取得］を行ったら、データ転送を終了するまで本体とパソコンのケーブル接続ははずさないでください。
④ 本体の書き込み先のアニメーションを選択します。
⑤ ［OK］をクリックすると、本体にアニメーションを書き込みます。

ブックマークデータの編集をする

基本的な使用例

- 基本的な使用例の手順を記載します。
  データの入力のしかたは、それぞれの項目をご参照ください。

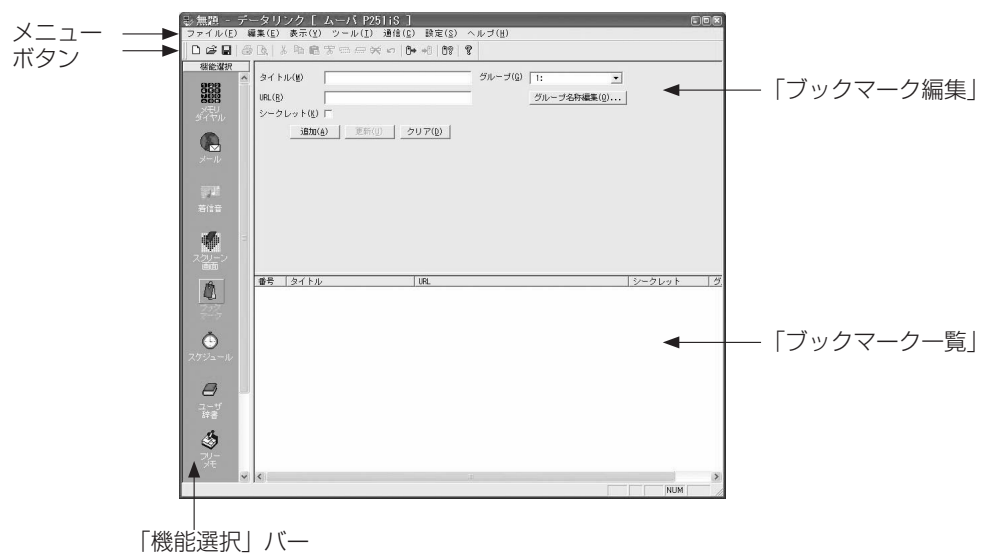
ブックマークデータを新しく作成して、本体に登録する

① 「ブックマーク」でブックマークデータを入力します。
② ケーブルで本体とパソコンを接続し、本体の電源を入れます。
③ 「ブックマーク」で[通信]メニューの[パソコン⇒携帯電話]を実行して、本体にデータを書き込みます。

本体のブックマークデータを編集して、再び本体に登録する

① ケーブルで本体とパソコンを接続し、本体とパソコンの電源を入れます。
② 「ブックマーク」で[通信]メニューの[携帯電話⇒パソコン]を実行して、パソコンにデータを読み込みます。
③ 「ブックマーク」でブックマークデータを編集します。
④ 「ブックマーク」で[通信]メニューの[パソコン⇒携帯電話]を実行して、本体にデータを書き込みます。

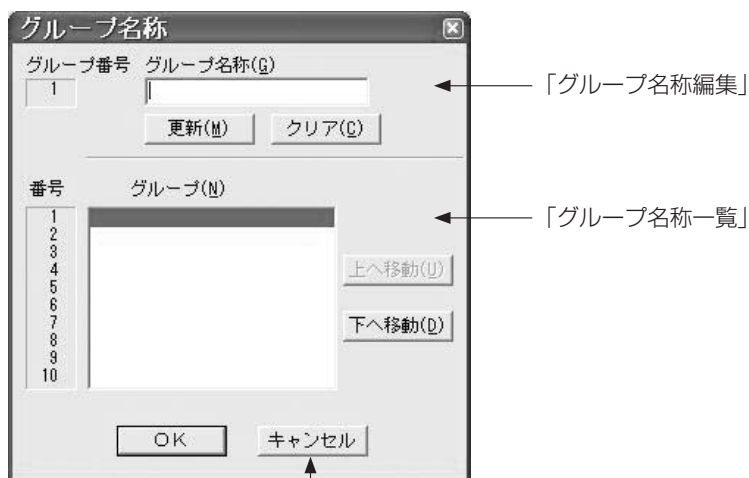
「ブックマーク」のウィンドウについて

- ブックマークデータの編集ができます。
- 「ブックマーク編集」でブックマークの入力、編集を行います。
  「ブックマーク一覧」にブックマークの内容が表示されます。
  ※ 「ブックマーク一覧」では、ブックマークデータに番号がついて表示されます。
- 「ブックマーク一覧」のブックマークデータを行毎に「行コピー」や「行削除」などの操作をすることができます。
  「ブックマーク一覧」の行を選択して、[編集] メニューまたはボタンから、操作を選択してください。
- 「ブックマーク」で入力できるのは、500 件までです。

「ブックマーク」の入力のしかた

- 「ブックマーク編集」で入力したい項目（入力欄）をクリックすると、入力できるようになります。キーボードの [Tab] キーを押すと次の項目に移動していきます。
- 「ブックマーク一覧」で編集したいブックマークデータの行をクリックすると、「ブックマーク編集」にデータが表示され、編集することができます。
  「ブックマーク一覧」ではキーボードの矢印キー［↑］または［↓］で、上下に移動することができます。
- ブックマークデータをすべて入力したら、[追加] または [更新] をクリックします。
  [追加] をクリックすると、「ブックマーク一覧」にデータを追加します。
  [更新] をクリックすると、「ブックマーク一覧」で選択されていたデータを更新します。
- 「ブックマーク編集」の入力欄をすべて未入力の状態に戻したいときは、[クリア] をクリックします。
- [グループ名編集] をクリックすると、グループ名称データの編集ができます。

「グループ名称編集」の入力のしかた

- 「グループ名称一覧」で入力したいグループ名の行をクリックして、「グループ名称編集」の「グループ名称」欄をクリックすると、グループ名を入力できるようになります。
  「グループ名称一覧」では、キーボードの矢印キー［↑］または［↓］で上下に移動することができます。
- グループ名を入力したら、［更新］をクリックすると、「グループ名称一覧」の同じグループ番号のデータを更新します。
- 「グループ名称」欄を未入力の状態に戻したいときは、［クリア］をクリックします。
- 「グループ名称一覧」に表示されているグループ名の順番を変えることができます。移動したいグループ名を選択し、［上へ移動］または［下へ移動］をクリックすると、選択したグループ名が上下に移動します。

※ 「グループ名称一覧」では、グループ番号は「番号」欄に表示されます。

- ここをクリックすると、何も実行しないで元に戻ります。

各欄の入力制限

- タイトル
  全角ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字のみのときは、12 文字まで入力できます。
  半角カタカナ、英字、数字のみのときは、24 文字まで入力できます。
- URL
  全角ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字のみのときは、128 文字まで入力できます。
  半角カタカナ、英字、数字のみのときは、256 文字まで入力できます。
- グループ名
  全角ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字のみのときは、8 文字まで入力できます。
  半角カタカナ、英字、数字のみのときは、16 文字まで入力できます。
- シークレット
  シークレットの［□］をチェックして、シークレット、非シークレットを選択してください。

「ブックマーク」での操作のしかた

- 本体とパソコンの間でデータ転送を行うときは、必ずケーブルで本体とパソコンを接続して、本体とパソコンの電源を入れてから実行してください。
- 「パソコン⇒携帯電話」「ブックマーク消去」のデータ転送中に「通信中」のウィンドウで［中断］をクリックして、データ転送を中断した場合でも、本体のブックマークデータは元に戻りませんのでご注意ください。

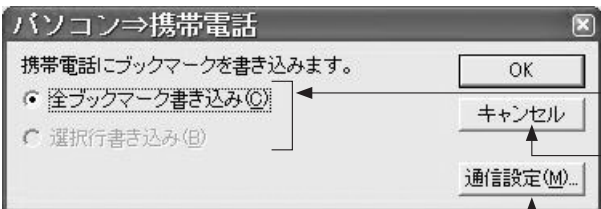
本体のブックマークデータをパソコンに読み込む

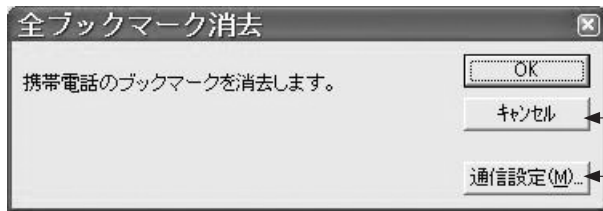
① ［通信］メニューの［携帯電話⇒パソコン］を選択します。または、［携帯電話⇒パソコン］ボタンをクリックします。
② 「携帯電話⇒パソコン」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ ［OK］をクリックすると、本体からブックマークデータを読み込みます。

- ［携帯電話⇒パソコン］の操作をしたときに「ブックマーク一覧」にブックマークデータが表示されている場合は、「現在のファイルに追加する」の［□］をチェックすると、新たに読み込んだブックマークデータをすでに表示されているブックマークデータに追加することができます。

※ 「現在のファイルに追加する」をチェックした場合は、「読み込み位置」も選択してください。
「読み込み位置」の「現在行へ」を選択するときは、「携帯電話⇒パソコン」のウィンドウを開く前に、「ブックマーク一覧」でブックマークデータを選択してください。

パソコンのブックマークデータを本体に書き込む

① ［通信］メニューの［パソコン⇒携帯電話］を選択します。または、［パソコン⇒携帯電話］ボタンをクリックします。
② 「パソコン⇒携帯電話」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「全ブックマーク書き込み」または「選択行書き込み」を選択します。
※ 「全ブックマーク書き込み」を選択すると、本体に登録されていたブックマークデータをすべて削除して、新しいデータを書き込みます。
※ 「選択行書き込み」を選択すると、本体に登録されていたブックマークデータをすべて削除して、「ブックマーク一覧」で選択しているブックマークデータのみを書き込みます。
「選択行書き込み」をするときは、「パソコン⇒携帯電話」のウィンドウを開く前に、「ブックマーク一覧」でブックマークデータを選択してください。
④ ［OK］をクリックすると、本体にブックマークデータを書き込みます。

本体のブックマークデータをすべて消去する

① ［通信］メニューの［全ブックマーク消去］を選択します。
② 「全ブックマーク消去」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ ［OK］をクリックすると、本体のブックマークデータを消去します。
※ 一度消去したデータは、元に戻すことができませんので、ご注意ください。

ブックマークデータを並べ替える

① ［ツール］メニューの［並べ替え］を選択します。
② 「並べ替え」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「最優先される項目」「昇降順」を選択します。
必要であれば、「2 番目に優先される項目」「昇降順」も選択します。
④ ［OK］をクリックすると、指定の順番で並べ替えを行います。

● 「ブックマーク一覧」の「タイトル」「URL」などの見出しをクリックすると、その項目で並べ替えを行うことができます。
並べ替えの順番（昇順､降順）は､1 回クリックするごとに、切り替わります。
※ 「グループ番号順」で並べ替えたとき、同じグループ番号の中での並び順は、並べ替えを実行する前の順番と同じになります。また「シークレット順」で並べ替えたときも同様にシークレット、非シークレットの中での並び順は、並べ替えを実行する前の順番と同じになります。

スケジュールデータの編集をする

基本的な使用例

- 基本的な使用例の手順を記載します。
  データの入力のしかたは、それぞれの項目をご参照ください。

スケジュールデータを新しく作成して、本体に登録する

① 「スケジュール」でスケジュールデータを入力します。
② ケーブルで本体とパソコンを接続し、本体の電源を入れます。
③ 「スケジュール」で[通信]メニューの[パソコン⇒携帯電話]を実行して、本体にデータを書き込みます。

本体のスケジュールデータを編集して、再び本体に登録する

① ケーブルで本体とパソコンを接続し、本体とパソコンの電源を入れます。
② 「スケジュール」で[通信]メニューの[携帯電話⇒パソコン]を実行して、パソコンにデータを読み込みます。
③ 「スケジュール」でスケジュールデータを編集します。
④ 「スケジュール」で[通信]メニューの[パソコン⇒携帯電話]を実行して、本体にデータを書き込みます。

「スケジュール」のウィンドウについて

- スケジュールデータの編集や記念日の設定ができます。
- 「スケジュール編集」でスケジュールの入力、編集を行います。
  「スケジュール一覧」にスケジュールの内容が表示されます。
  ※ 「スケジュール一覧」では、スケジュールデータに番号がついて表示されます。
- 「スケジュール一覧」のスケジュールデータを行毎に「行コピー」や「行削除」などの操作をすることができます。
  「スケジュール一覧」の行を選択して、[編集]メニューまたはボタンから、操作を選択してください。
- 同じ日、同じ時刻に複数のスケジュールを登録することができます。
- 「スケジュール」で入力できるのは、500件までです。

「スケジュール」の入力のしかた

- 「スケジュール編集」で入力したい項目（入力欄）をクリックすると、入力できるようになります。キーボードの［Tab］キーを押すと次の項目に移動していきます。
  ※ 日時を入力するときは、入力欄の左端にカーソルを表示させるか、入力欄の文字をすべて選択して反転表示させてから、入力してください。
  1桁の数字を入力するときは、頭に「0」をつけて2桁の数字にして入力してください。
  ※ 時刻は、24 時間表示で入力してください。
  ※ アラーム音量は、スライダで選択してください。アラーム音量選択スライダの右側に音量が表示されます。
- 「スケジュール一覧」で編集したいスケジュールデータの行をクリックすると、「スケジュール編集」にデータが表示され、編集することができます。
  「スケジュール一覧」ではキーボードの矢印キー［↑］または［↓］で、上下に移動することができます。
- スケジュールデータをすべて入力したら、［追加］または［更新］をクリックします。
  ［追加］をクリックすると、「スケジュール一覧」にデータを追加します。
  ［更新］をクリックすると、「スケジュール一覧」で選択されていたデータを更新します。
- 「スケジュール編集」の入力欄をすべて未入力の状態に戻したいときは、［クリア］をクリックします。
- スケジュールに記念日を設定するときは、［ツール］メニューの［記念日設定］を選択するか、［記念日設定］ボタンをクリックします。

「記念日設定」の入力のしかた

- 「記念日編集」で入力したい項目（入力欄）をクリックすると、入力できるようになります。キーボードの［Tab］キーを押すと次の項目に移動していきます。
  ※ 記念日を入力するときは、入力欄の左端にカーソルを表示させるか、入力欄の文字をすべて選択して反転表示させてから、入力してください。
  1桁の数字を入力するときは、頭に「0」をつけて2桁の数字にして入力してください。
- 「記念日一覧」で編集したい記念日データの行をクリックすると、「記念日編集」にデータが表示され、編集することができます。
  「記念日一覧」ではキーボードの矢印キー［↑］または［↓］で上下に移動することができます。
- 設定方法の選択により、記念日の入力欄が異なります。
  「通常設定」を選択した場合、記念日には月日を入力してください。
  「曜日設定」を選択した場合、記念日は特定の月と曜日を選択してください。
- 記念日データを入力したら、［追加］または［更新］をクリックします。
  ［追加］をクリックすると、「記念日一覧」にデータを追加します。
  ［更新］をクリックすると、「記念日一覧」で選択されていたデータを更新します。
- 「記念日一覧」で記念日データを選択して、［削除］をクリックすると、データを削除することができます。
- 「記念日設定」で入力できるのは、30 件までです。また同じ日に 5 件（通常設定 4 件、曜日設定 1 件）までの記念日設定をすることができます。

各欄の入力制限

- 開始日時、終了日時、アラーム日時
  半角数字のみ入力できます。
  ※ 終了日時は、開始日時より後の日時にしてください。
  またアラーム日時は、終了日時より前の日時にしてください。
- 保護
  保護の［□］をチェックして、保護、非保護を選択してください。
- シークレット
  シークレットの［□］をチェックして、シークレット、非シークレットを選択してください。
- 処理
  処理の［□］をチェックして、処理、未処理を選択してください。
- 繰り返し設定
  繰り返し設定欄右の［▼］をクリックして表示される設定の中から選択してください。
- 着信音パターン
  着信音パターン欄右の［▼］をクリックして表示される着信音の中から選択してください。
- スケジュールメモ
  全角ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字のみのときは、20 文字まで入力できます。
  半角カタカナ、英字、数字のみのときは、40 文字まで入力できます。
- アイコン
  アイコン欄右の［▼］をクリックして表示されるアイコンの中から選択してください。
- 待受画面アイコン表示
  待受画面アイコン表示の［□］をチェックして、本体待受画面でのスケジュールアイコンの表示、非表示を選択してください。
- アラーム音量
  スライダでアラーム音量を選択してください。
- 設定方法
  設定方法欄右の［▼］をクリックして表示される設定の中から選択してください。
- 記念日
  「通常設定」を選択している場合、半角数字のみ入力できます。
  「曜日設定」を選択している場合、各入力欄右の［▼］をクリックして表示される中から選択してください。
- 記念日内容
  全角ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字のみのときは、9 文字まで入力できます。
  半角カタカナ、英字、数字のみのときは、19 文字まで入力できます。

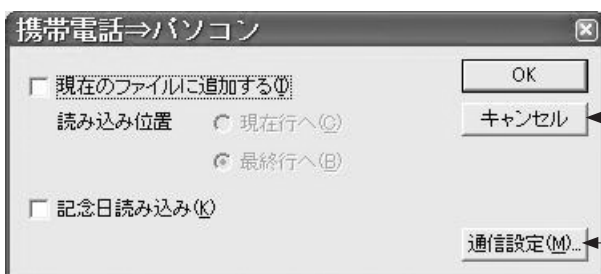
「スケジュール」での操作のしかた

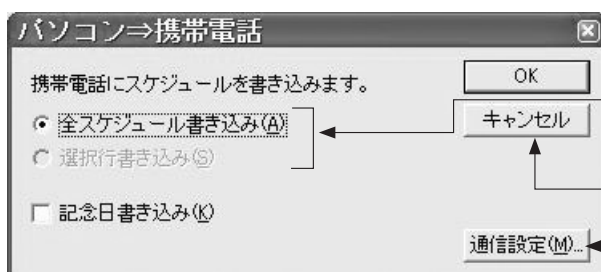
- 本体とパソコンの間でデータ転送を行うときは、必ずケーブルで本体とパソコンを接続して、本体とパソコンの電源を入れてから実行してください。
- 「パソコン⇒携帯電話」「スケジュール消去」のデータ転送中に「通信中」のウィンドウで［中断］をクリックして、データ転送を中断した場合でも、本体のスケジュールデータは元に戻りませんのでご注意ください。

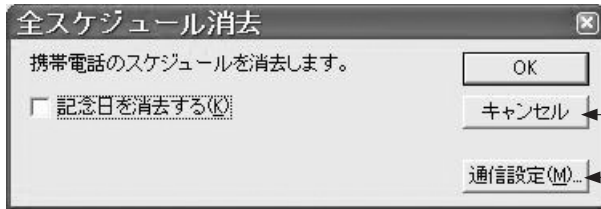
本体のスケジュールデータをパソコンに読み込む

① ［通信］メニューの［携帯電話⇒パソコン］を選択します。または、［携帯電話⇒パソコン］ボタンをクリックします。
② 「携帯電話⇒パソコン」のウィンドウが表示されます。（下図）
※ 記念日データもあわせて読み込む場合は、「記念日読み込み」の［□］をチェックしてください。
③ ［OK］をクリックすると、本体からスケジュールデータを読み込みます。

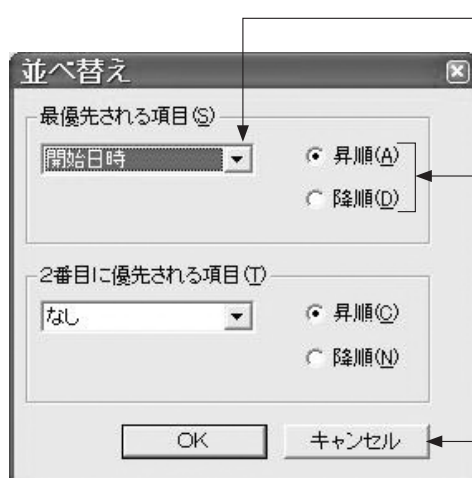
- ［携帯電話⇒パソコン］の操作をしたときに「スケジュール一覧」にスケジュールデータが表示されている場合は、「現在のファイルに追加する」の［□］をチェックすると、新たに読み込んだスケジュールデータをすでに表示されているスケジュールデータに追加することができます。
このとき、記念日データをあわせて読み込むことはできません。

※ 「現在のファイルに追加する」をチェックした場合は、「読み込み位置」も選択してください。
「読み込み位置」の「現在行へ」を選択するときは、「携帯電話⇒パソコン」のウィンドウを開く前に、「スケジュール一覧」でスケジュールデータを選択してください。
※ スケジュールデータを読み込んだとき、着信音パターンに固定データ（ブザー、効果音、メロディ、バイブレータなど）以外が設定されていた場合は、通常アラームに変換されます。

パソコンのスケジュールデータを本体に書き込む

① ［通信］メニューの［パソコン⇒携帯電話］を選択します。または、［パソコン⇒携帯電話］ボタンをクリックします。
② 「パソコン⇒携帯電話」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「全スケジュール書き込み」または「選択行書き込み」を選択します。
※ 「全スケジュール書き込み」を選択すると、本体に登録されていたスケジュールデータをすべて削除して、新しいデータを書き込みます。
※ 「選択行書き込み」を選択すると、本体に登録されていたスケジュールデータをすべて削除して、「スケジュール一覧」で選択しているスケジュールデータのみを書き込みます。
「選択行書き込み」をするときは、「パソコン⇒携帯電話」のウィンドウを開く前に、「スケジュール一覧」でスケジュールデータを選択してください。
※ 記念日データもあわせて書き込む場合は、「記念日書き込み」の［□］をチェックしてください。
④ ［OK］をクリックすると、本体にスケジュールデータを書き込みます。
※ スケジュールデータの書き込みを実行すると、本体に登録されていたスケジュールデータをすべて削除して、新しいデータを書き込みます。

本体のスケジュールデータをすべて消去する

① ［通信］メニューの［全スケジュール消去］を選択します。
② 「全スケジュール消去」のウィンドウが表示されます。（下図）
　※ 記念日データもあわせて消去するときは、「記念日を消去する」の［□］をチェックしてください。
③ ［OK］をクリックすると、本体のスケジュールデータを消去します。
※ 一度消去したデータは、元に戻すことができませんので、ご注意ください。

スケジュールデータを並べ替える

① ［ツール］メニューの［並べ替え］を選択します。
② 「並べ替え」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「最優先される項目」「昇降順」を選択します。
　必要であれば、「2 番目に優先される項目」「昇降順」も選択します。
④ ［OK］をクリックすると、指定の順番で並べ替えを行います。

● 「スケジュール一覧」の「開始日時」「スケジュールメモ」などの見出しをクリックすると、その項目で並べ替えを行うことができます。
　並べ替えの順番（昇順､降順）は､1 回クリックするごとに､切り替わります。

ユーザ辞書の編集をする

基本的な使用例

- 基本的な使用例の手順を記載します。
  データの入力のしかたは、それぞれの項目をご参照ください。

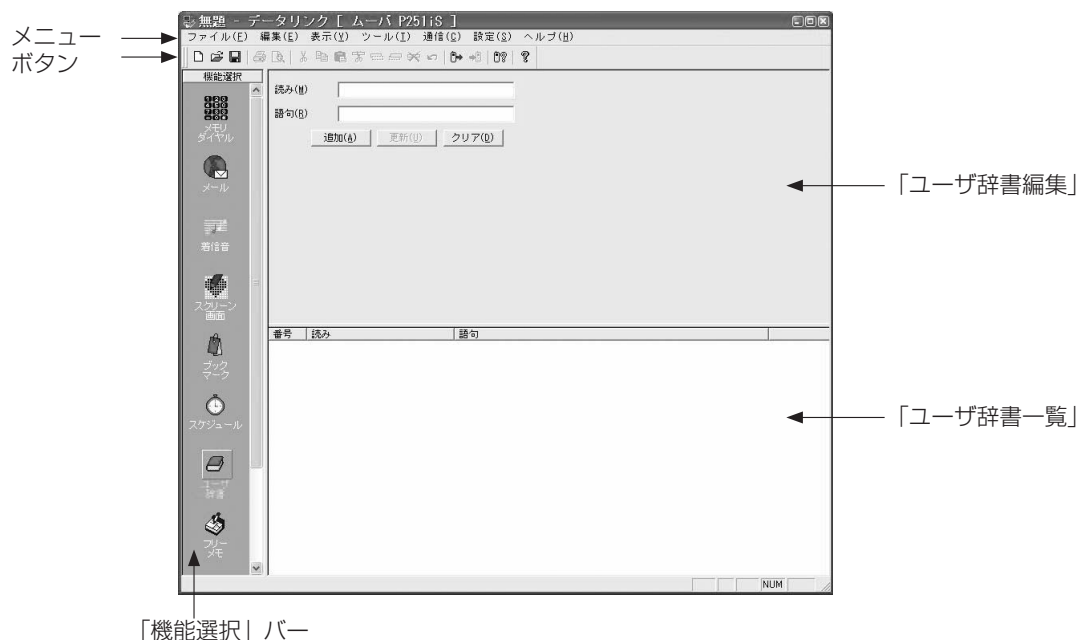
ユーザ辞書を新しく作成して、本体に登録する

① 「ユーザ辞書」でデータを入力します。
② ケーブルで本体とパソコンを接続し、本体の電源を入れます。
③ 「ユーザ辞書」で［通信］メニューの［パソコン⇒携帯電話］を実行して、本体にデータを書き込みます。

本体のユーザ辞書を編集して、再び本体に登録する

① ケーブルで本体とパソコンを接続し、本体とパソコンの電源を入れます。
② 「ユーザ辞書」で［通信］メニューの［携帯電話⇒パソコン］を実行して、パソコンにデータを読み込みます。
③ 「ユーザ辞書」でデータを編集します。
④ 「ユーザ辞書」で［通信］メニューの［パソコン⇒携帯電話］を実行して、本体にデータを書き込みます。

「ユーザ辞書」のウィンドウについて

- ユーザ辞書のデータの編集ができます。
- 「ユーザ辞書編集」でユーザ辞書の入力、編集を行います。
  「ユーザ辞書一覧」にユーザ辞書の内容が表示されます。
  ※ 「ユーザ辞書一覧」では、ユーザ辞書のデータに番号がついて表示されます。
- 「ユーザ辞書一覧」のデータを行毎に「行コピー」や「行削除」などの操作をすることができます。
  「ユーザ辞書一覧」の行を選択して、［編集］メニューまたはボタンから、操作を選択してください。
- 「ユーザ辞書」で入力できるのは、500件までです。

「ユーザ辞書」の入力のしかた

- 「ユーザ辞書編集」で入力したい項目（入力欄）をクリックすると、入力できるようになります。キーボードの［Tab］キーを押すと次の項目に移動していきます。
- 「ユーザ辞書一覧」で編集したいデータの行をクリックすると「ユーザ辞書編集」にデータが表示され、編集することができます。
  「ユーザ辞書一覧」ではキーボードの矢印キー［↑］または［↓］で、上下に移動することができます。
- ユーザ辞書のデータをすべて入力したら、［追加］または［更新］をクリックします。
  「追加」をクリックすると、「ユーザ辞書一覧」にデータを追加します。
  ［更新］をクリックすると、「ユーザ辞書一覧」で選択されていたデータを更新します。
- 「ユーザ辞書編集」の入力欄をすべて未入力の状態に戻したいときは、［クリア］をクリックします。

各欄の入力制限

- 読み
  全角ひらがなのみ 12 文字まで入力できます。
- 語句
  全角ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字と半角カタカナ、英字、数字を、全角、半角にかかわらず 24 文字まで入力できます。

「ユーザ辞書」での操作のしかた

- 本体とパソコンの間でデータ転送を行うときは、必ずケーブルで本体とパソコンを接続して、本体とパソコンの電源を入れてから実行してください。
- 「パソコン⇒携帯電話」「全ユーザ辞書消去」のデータ転送中に「通信中」のウィンドウで［中断］をクリックして、データ転送を中断した場合でも、本体のユーザ辞書のデータは元に戻りませんのでご注意ください。

本体のユーザ辞書をパソコンに読み込む

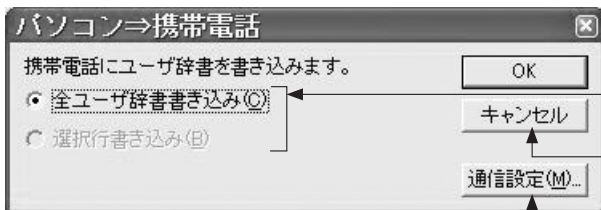
① ［通信］メニューの［携帯電話⇒パソコン］を選択します。
　または、［携帯電話⇒パソコン］ボタンをクリックします。
② 「携帯電話⇒パソコン」のウィンドウが表示されます。
　（下図）
③ ［OK］をクリックすると、本体からユーザ辞書を読み込みます。

- ［携帯電話⇒パソコン］の操作をしたときに「ユーザ辞書一覧」にデータが表示されている場合は、「現在のファイルに追加する」の［□］をチェックすると、新たに読み込んだデータをすでに表示されているデータに追加することができます。

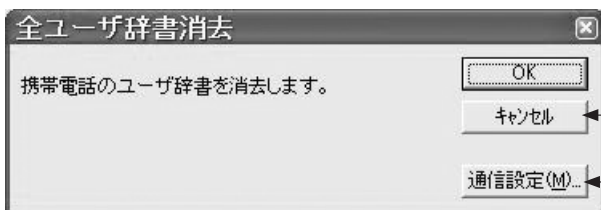
※ 「現在のファイルに追加する」をチェックした場合は、「読み込み位置」も選択してください。
　「読み込み位置」の「現在行へ」を選択するときは、「携帯電話⇒パソコン」のウィンドウを開く前に、「ユーザ辞書一覧」でデータを選択してください。

- ここをクリックすると、何も実行しないで元に戻ります。
- 接続方法や COM ポートを変更するときにクリックします。

パソコンのユーザ辞書を本体に書き込む

① ［通信］メニューの［パソコン⇒携帯電話］を選択します。
または、［パソコン⇒携帯電話］のボタンをクリックします。
② 「パソコン⇒携帯電話」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「全ユーザ辞書書き込み」または「選択行書き込み」を選択します。
※ 「全ユーザ辞書書き込み」を選択すると、本体に登録されていたデータをすべて削除して、新しいデータを書き込みます。
※ 「選択行書き込み」を選択すると、本体に登録されていたデータをすべて削除して、「ユーザ辞書一覧」で選択しているデータのみを書き込みます。
「選択行書き込み」をするときは、「パソコン⇒携帯電話」のウィンドウを開く前に、「ユーザ辞書一覧」でデータを選択してください。
④ ［OK］をクリックすると、本体にデータを書き込みます。

● ［○］をクリックしてデータ範囲を選択します。
● ここをクリックすると、何も実行しないで元に戻ります。
● 接続方法やCOMポートを変更するときにクリックします。

本体のユーザ辞書をすべて消去する

① ［通信］メニューの［全ユーザ辞書消去］を選択します。
② 「全ユーザ辞書消去」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ ［OK］をクリックすると、本体のデータを消去します。
※ 一度消去したデータは、元に戻すことができませんのでご注意ください。

ユーザ辞書のデータを並べ替える

① ［ツール］メニューの［並べ替え］を選択します。
② 「並べ替え」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「最優先される項目」「昇降順」を選択します。
必要であれば、「2番目に優先される項目」「昇降順」も選択します。
④ ［OK］をクリックすると、指定の順番で並べ替えを行います。

● 「ユーザ辞書一覧」の「読み」「語句」の見出しをクリックすると、その項目で並べ替えを行うことができます。
並べ替えの順番（昇順、降順）は、1回クリックするごとに切り替わります。

フリーメモの編集をする

基本的な使用例

- 基本的な使用例の手順を記載します。
  データの入力のしかたは、それぞれの項目をご参照ください。

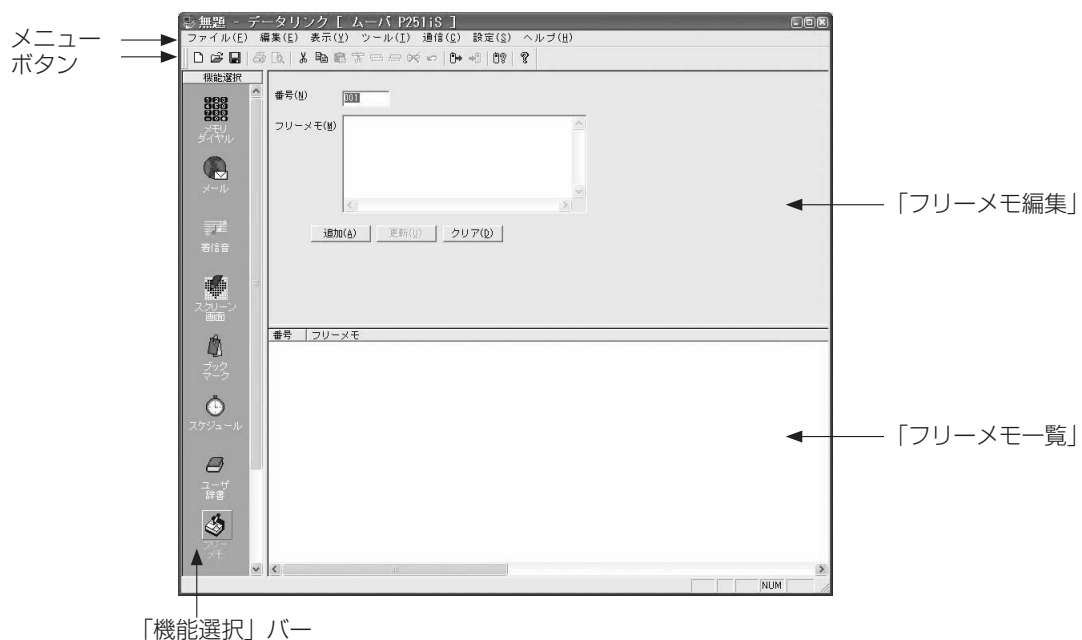
フリーメモデータを新しく作成して、本体に登録する

① 「フリーメモ」でフリーメモデータを入力します。
② ケーブルで本体とパソコンを接続し、本体の電源を入れます。
③ 「フリーメモ」で［通信］メニューの［パソコン⇒携帯電話］を実行して、本体にデータを書き込みます。

本体のフリーメモデータを編集して、再び本体に登録する

① ケーブルで本体とパソコンを接続し、本体とパソコンの電源を入れます。
② 「フリーメモ」で［通信］メニューの［携帯電話⇒パソコン］を実行して、パソコンにデータを読み込みます。
③ 「フリーメモ」でフリーメモデータを編集します。
④ 「フリーメモ」で［通信］メニューの［パソコン⇒携帯電話］を実行して、本体にデータを書き込みます。

「フリーメモ」のウィンドウについて

- フリーメモデータの編集ができます。
- 「フリーメモ編集」でフリーメモの入力、編集を行います。
  「フリーメモ一覧」にフリーメモの内容が表示されます。
  ※ 「フリーメモ一覧」では、フリーメモ番号は「番号」欄に表示されます。
- 「フリーメモ一覧」のフリーメモデータを行毎に「行コピー」や「行削除」などの操作をすることができます。
  「フリーメモ一覧」の行を選択して、［編集］メニューまたはボタンから、操作を選択してください。
- 「フリーメモ」で入力できるのは、500 件までです。

「フリーメモ」の入力のしかた

- 「フリーメモ編集」で入力したい項目（入力欄）をクリックすると､入力できるようになります。キーボードの［Tab］キーを押すと次の項目に移動していきます。
- 「フリーメモ一覧」で編集したいデータの行をクリックすると、「フリーメモ編集」にデータが表示され、編集することができます。
  「フリーメモ一覧」ではキーボードの矢印キー［↑］または［↓］で、上下に移動することができます。
- フリーメモデータをすべて入力したら､［追加］または［更新］をクリックします。
  ［追加］をクリックすると、「フリーメモ一覧」にデータを追加します。
  ［更新］をクリックすると、「フリーメモ一覧」で選択されていたデータを更新します。
- 「フリーメモ編集」の入力欄をすべて未入力の状態に戻したいときは、［クリア］をクリックします。

各欄の入力制限

- 番号
  「001」～「500」までの 3 桁の半角数字のみ入力できます。
- フリーメモ
  全角ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字のみのときは、50 文字まで入力できます。
  半角カタカナ、英字、数字のみのときは、100 文字まで入力できます。

「フリーメモ」での操作のしかた

- 本体とパソコンの間でデータ転送を行うときは、必ずケーブルで本体とパソコンを接続して、本体とパソコンの電源を入れてから実行してください。
- 「パソコン⇒携帯電話」「フリーメモ初期化」のデータ転送中に「通信中」のウィンドウで［中断］をクリックして、データ転送を中断した場合でも、本体のフリーメモデータは元に戻りませんのでご注意ください。

本体のフリーメモデータをパソコンに読み込む

① ［通信］メニューの［携帯電話⇒パソコン］を選択します。または、［携帯電話⇒パソコン］ボタンをクリックします。
② 「携帯電話⇒パソコン」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ ［OK］をクリックすると、本体からフリーメモを読み込みます。

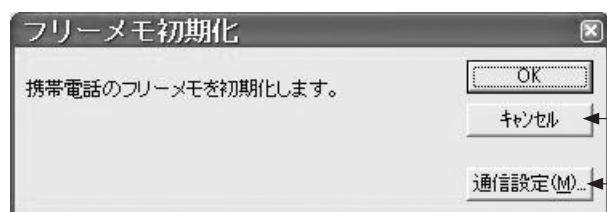
- ［携帯電話⇒パソコン］の操作をしたときに「フリーメモ一覧」にフリーメモデータが表示されている場合は、「現在のファイルに追加する」の［□］をチェックすると、新たに読み込んだデータをすでに表示されているデータに追加することができます。

※ 「現在のファイルに追加する」をチェックした場合は、「読み込み位置」も選択してください。
「読み込み位置」の「現在行へ」を選択するときは、「携帯電話⇒パソコン」のウィンドウを開く前に、「フリーメモ一覧」でデータを選択してください。

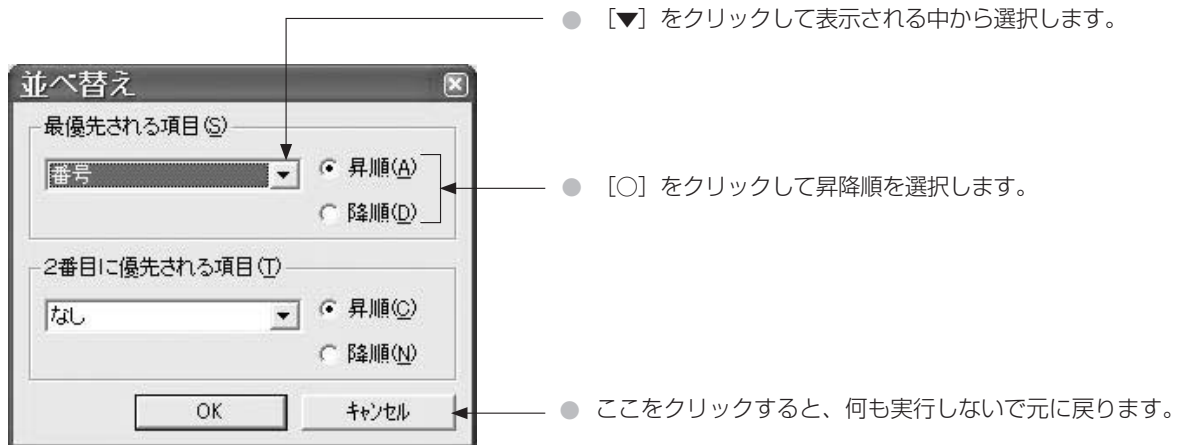
パソコンのフリーメモデータを本体に書き込む

① ［通信］メニューの［パソコン⇒携帯電話］を選択します。または、［パソコン⇒携帯電話］ボタンをクリックします。
② 「パソコン⇒携帯電話」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「全フリーメモ書き込み」または「選択行書き込み」を選択します。
※ 「全フリーメモ書き込み」を選択すると、本体に登録されていたフリーメモをすべて削除して、新しいデータを書き込みます。
※ 「選択行書き込み」を選択すると、本体に登録されていたフリーメモをすべて削除して、「フリーメモ一覧」で選択しているフリーメモデータのみを書き込みます。「選択行書き込み」をするときは、「パソコン⇒携帯電話」のウィンドウを開く前に、「フリーメモ一覧」でフリーメモデータを選択してください。
④ ［OK］をクリックすると、本体にフリーメモデータを書き込みます。

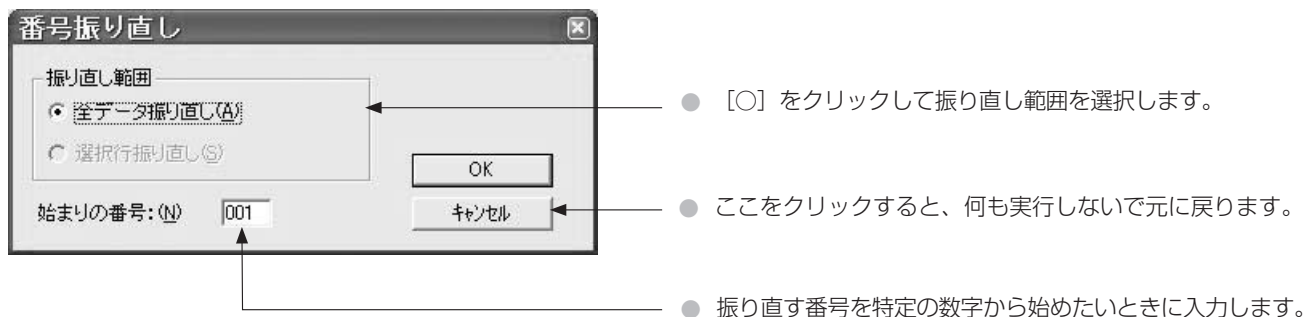
本体のフリーメモデータを初期化する

① ［通信］メニューの［フリーメモ初期化］を選択します。
② 「フリーメモ初期化」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ ［OK］をクリックすると、本体のフリーメモデータを初期化します。

本体のフリーメモデータを並べ替える

① ［ツール］メニューの［並べ替え］を選択します。
② 「並べ替え」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「最優先される項目」「昇降順」を選択します。
必要であれば、「2 番目に優先される項目」「昇降順」も選択します。
④ ［OK］をクリックすると、指定の順番で並べ替えを行います。

● 「フリーメモ一覧」の「番号」「フリーメモ」の見出しをクリックすると、その項目で並べ替えを行うことができます。並べ替えの順番（昇順､降順）は､1 回クリックするごとに、切り替わります。

フリーメモの番号の自動振り直しをする

● 編集、並べ替えをしたデータが番号順に並んでいないとき、順番に番号を振り直します。
① ［ツール］メニューの［番号振り直し］を選択します。
② 「番号振り直し」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「振り直し範囲」を選択して、［OK］をクリックすると、番号の振り直しを行います。

※ 振り直す番号を特定の数字から始めたいときは「始まりの番号」に数字を入力します。
「始まりの番号」を入力しないときは、番号「001」から番号の振り直しを行います。
※ 「番号振り直し」を実行すると、実行前の番号に戻すことはできませんのでご注意ください。

ピクチャの編集をする

基本的な使用例

- 基本的な使用例の手順を記載します。
  データの入力のしかたは、それぞれの項目をご参照ください。

パソコンに保存してある画像（ピクチャ）を本体に登録する

① パソコンに保存してある画像ファイルを「ピクチャ」に表示します。
② ケーブルで本体とパソコンを接続し、本体の電源を入れます。
③ 「ピクチャ」で［通信］メニューの［パソコン⇒携帯電話］を実行して、本体にデータを書き込みます。

本体に登録している画像（ピクチャ）を編集して、再び本体に登録する

① ケーブルで本体とパソコンを接続し、本体とパソコンの電源を入れます。
② 「ピクチャ」で［通信］メニューの［携帯電話⇒パソコン］を実行して、パソコンに画像ファイルを読み込みます。
③ 「ピクチャ」で画像ファイルを編集します。
④ 「ピクチャ」で［通信］メニューの［パソコン⇒携帯電話］を実行して、本体にデータを書き込みます。

「ピクチャ」のウィンドウについて

- 画像ファイルの編集ができます。
- 「ピクチャ編集」で画像ファイル名の入力、編集を行います。
  「ピクチャ一覧」に画像ファイルが表示されます。
  ※ 「ピクチャ一覧」では、画像ファイルに番号がついて表示されます。

※ 「ピクチャ」でデータの読み込み、書き込みができるのは、本体の「ピクチャ」フォルダに対してです。
ただし、「ピクチャ」フォルダの中に作成されたフォルダに対しては、データの読み込み、書き込みはできません。

「ピクチャ」の入力のしかた

- 「ピクチャ編集」で画像ファイル名（携帯電話登録名称）の編集ができます。
「ピクチャ一覧」でファイルをクリックして、「ピクチャ編集」の「携帯電話登録名称」欄をクリックすると、ファイル名を入力できるようになります。「ピクチャ一覧」では、キーボードの矢印キー［↑］または［↓］で上下に移動することができます。
- ファイル名を入力して、［更新］をクリックすると、「ピクチャ一覧」で選択されていたファイル名を更新します。
- 「ピクチャ編集」の入力欄を未入力の状態に戻したいときは、［クリア］をクリックします。
- 「ピクチャ一覧」でファイルを選択して、［ツール］メニューの［ビューア起動］を選択すると、画像を表示することができます。［ビューア起動］ボタンをクリックしても、同様に表示できます。
※ ビューア起動をするためには、JPEG/GIF ファイルオープンに関連づけられたソフトが必要です。
また、画像の編集をする場合は、画像ファイルの編集ができるアプリケーションソフトが必要です。

各欄の入力制限

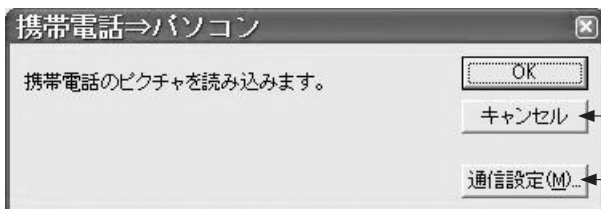
- 携帯電話登録名称
全角ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字のみのときは、122 文字まで入力できます。
半角カタカナ、英字、数字のみのときは、245 文字まで入力できます。

「ピクチャ」での操作のしかた

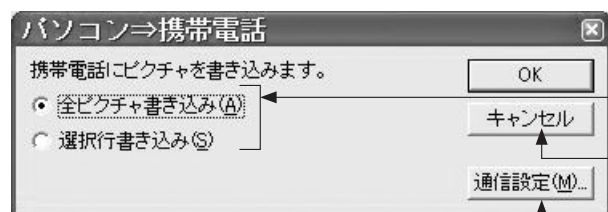
- 本体とパソコンの間でデータ転送を行うときは、必ずケーブルで本体とパソコンを接続して、本体とパソコンの電源を入れてから実行してください。

本体の画像をパソコンに読み込む

① ［通信］メニューの［携帯電話⇒パソコン］を選択します。
または、［携帯電話⇒パソコン］ボタンをクリックします。
② 「携帯電話⇒パソコン」のウィンドウが表示されます。
（下図）
③ ［OK］をクリックすると、本体から画像を読み込みます。

- 読み込んだ画像データは、読み込みを実行したときに選択されていたピクチャ保存フォルダに保存されます。
ピクチャ保存フォルダを変更する場合は、［設定］メニューの［ピクチャ保存フォルダ設定］を選択、または［ピクチャ保存フォルダ設定］ボタンをクリックして、フォルダを選択し、［OK］をクリックします。
［新規フォルダ］をクリックすると、そのとき選択されていたフォルダの中に新しいフォルダを作成することができます。

- ここをクリックすると、何も実行しないで元に戻ります。
- 接続方法や COM ポートを変更するときにクリックします。

パソコンの画像を本体に書き込む

● パソコンの画像ファイルを本体のピクチャフォルダに追加します。
① ［通信］メニューの［パソコン⇒携帯電話］を選択します。または、［パソコン⇒携帯電話］ボタンをクリックします。
② 「パソコン⇒携帯電話」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「全ピクチャ書き込み」または「選択行書き込み」を選択します。
※ 「選択行書き込み」をするときは、「パソコン⇒携帯電話」のウィンドウを開く前に、「ピクチャ一覧」でピクチャデータを選択してください。
④ ［OK］をクリックすると、本体にデータを書き込みます。

本体の画像を並べ替える

① ［ツール］メニューの［並べ替え］を選択します。
② 「並べ替え」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「最優先される項目」「昇降順」を選択します。必要であれば、「2 番目に優先される項目」「昇降順」も選択します。
④ ［OK］をクリックすると、指定の順番で並べ替えを行います。

● 「ピクチャ一覧」の「携帯電話登録名称」「保存日時」などの見出しをクリックすると、その項目で並べ替えを行うことができます。
並べ替えの順番（昇順、降順）は、1回クリックするごとに、切り替わります。

ファイル操作のしかた

ファイルを読み込む

① ［ファイル］メニューの［開く］を選択します。または、［開く］ボタンをクリックします。
② 「開く」または「ファイルを開く」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「ファイルの場所」「ファイル名」「ファイルの種類」の各欄を選択または入力して、［開く］をクリックすると、ファイルを読み込みます。
　※ 「ファイルの種類」は、読み込むファイルに合わせて選択してください。

※ 読み込めるのは、次の形式のファイルのみです。

「メモリダイヤル」ウィンドウのとき
・メモリダイヤルファイル（＊.MDL）
・MOVA DATA LINK Ver1 ファイル（＊.CSV）
・CSV ファイル（グループ付き）（＊.CSV）
・CSV ファイル（グループなし）（＊.CSV）
※ 「メモリダイヤル一覧」に表示されているデータにファイルごと追加するときは、［ファイル］メニューの［ファイルから追加］を選択します。

「メール」ウィンドウのとき
・メールファイル（＊.DML）
・ショートメールファイル（＊.SML）
・テキストファイル（＊.TXT）
※ ショートメールファイルやテキストファイルを開くときは、［ファイル］メニューの［インポート］を選択します。

「着信音」ウィンドウのとき
・着信音ファイル MLX（＊.MLX）
・着信音ファイル V2（＊.ML2）
・着信音ファイル（＊.ML1）
・旧着信音ファイル（＊.MLD）
・MFi ファイル MOM（＊.MOM）
・音声着信音ファイル（＊.MPM）
・MFi ファイル（＊.MLD）

「スクリーン画面」ウィンドウのとき
・スクリーンファイル（＊.MSR）
・ビットマップファイル（＊.BMP）
・アニメーションファイル（＊.MWA）

「ブックマーク」ウィンドウのとき
・ブックマークファイル（＊.BMK）
※ 「ブックマーク一覧」に表示されているデータにファイルごと追加するときは、［ファイル］メニューの［ファイルから追加］を選択します。

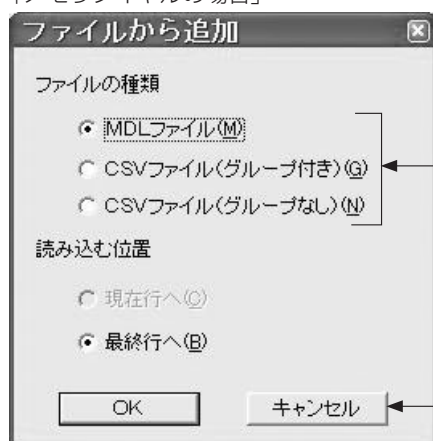
「スケジュール」ウィンドウのとき
・スケジュールファイル（＊.MSC）
※ 「スケジュール一覧」に表示されているデータにファイルごと追加するときは、［ファイル］メニューの［ファイルから追加］を選択します。

「ユーザ辞書」ウィンドウのとき
・ユーザ辞書ファイル（＊.MUD）
※ 「ユーザ辞書一覧」に表示されているデータにファイルごと追加するときは、［ファイル］メニューの［ファイルから追加］を選択します。

「フリーメモ」ウィンドウのとき
・フリーメモファイル（＊.MFM）
※ 「フリーメモ一覧」に表示されているデータにファイルごと追加するときは、［ファイル］メニューの［ファイルから追加］を選択します。

「ピクチャ」ウィンドウのとき
・画像ファイル（＊.JPEG）
・画像ファイル（＊.JPG）
・画像ファイル（＊.GIF）
※ 画像ファイルを開くときは、［ファイル］メニューの［インポート］を選択します。

● 下記のウィンドウで、データ一覧に表示されているデータにファイルごとデータを追加します。
・「メモリダイヤル」
・「ブックマーク」
・「スケジュール」
・「ユーザ辞書」
・「フリーメモ」

① 読み込むデータのウィンドウを表示します。
② ［ファイル］メニューの［ファイルから追加］を選択します。
③ 「ファイルから追加」のウィンドウが表示されます。（下図）
④ 「読み込む位置」を選択します。
※ 「現在行へ」を選択するときは、「ファイルから追加」のウィンドウを開く前に、データ一覧でデータを選択してください。
※ メモリダイヤルデータを追加する場合は、「ファイルの種類」も選択してください。
⑤ ［OK］をクリックすると、データを追加します。

ファイルをインポートする

「メール」でファイルをインポートする

● 「メール」ウィンドウでショートメールファイルやテキストファイルを読み込みます。

① ［ファイル］メニューの［インポート］を選択します。

② 「インポート」のウィンドウが表示されます。（下図）

③ インポートするファイルを選択します。［変更］をクリックすると、インポートするファイルを選択する「インポートファイル」のウィンドウが表示されます。

※ 各欄の入力のしかたは、「開く」と同様です。

④ ③で選択したファイルのデータの「インポートする範囲」を入力します。

※ 「受信メール」「送信メール」「定型文」のうち、インポートするファイルのデータに対応する欄に入力してください。

（例：ファイルデータが、「受信メール」の場合、「受信メール」の「インポートする範囲」の欄に入力してください。）

⑤ ［OK］をクリックすると、選択したファイルデータに対応する保管箱にデータを読み込みます。

● 「インポート」の操作をしたときに「メール一覧」にデータが表示されている場合は、「現在のデータに追加」の［□］をチェックすると、新たに読み込んだデータをすでに表示されているデータに追加することができます。

● ここをクリックすると、何も実行しないで元に戻ります。

「ピクチャ」でファイルをインポートする

● 「ピクチャ」ウィンドウで画像ファイルを読み込みます。

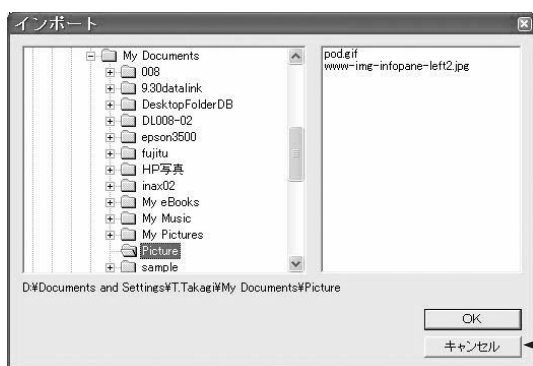
① ［ファイル］メニューの［インポート］を選択します。

② 「インポート」のウィンドウが表示されます。（下図）

③ インポートするファイルを選択します。

※ ファイルは、複数選択することができます。

※ インポートできるのは、画像サイズがCIF(352×288)以下で、1ファイル100KB 以下の画像ファイルです。

④ ［OK］をクリックすると、選択したファイルがコピーされて「ピクチャ一覧」に表示されます。

● ここをクリックすると、何も実行しないで元に戻ります。

ファイルを保存する

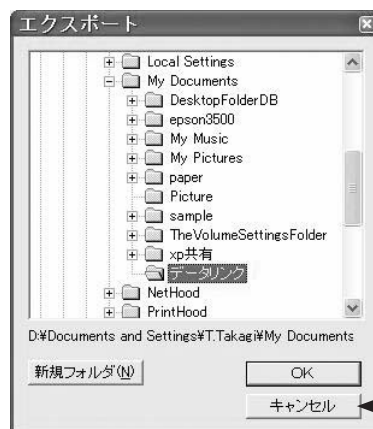
① ［ファイル］メニューの［名前を付けて保存］［上書き保存］のどちらかを選択します。または、［上書き保存］ボタンをクリックします。
② 「名前を付けて保存」のウィンドウが表示されます。
③ 「保存する場所」「ファイル名」「ファイルの種類」の各欄を選択または入力して、［保存］をクリックすると、ファイルを保存します。

※ 下記のウィンドウでファイルを保存する場合、別売のデータリンクソフト for NTT DoCoMo P006、P007、P008で使用できるファイルとして保存することができます。「ファイルの種類」に P006、P007、P008 が付記されているので、ファイルを使用するデータリンクソフトに合わせて選択してください。
- ・「メモリダイヤル」
- ・「メール」
- ・「ブックマーク」
- ・「スケジュール」
- ・「ユーザ辞書」
- ・「フリーメモ」･･･ファイルの種類に P006、P007、P008 が付記されていなくても共通で使用することができます。

※ 各欄の入力のしかたは、「開く」と同様です。

ファイルをエクスポートする

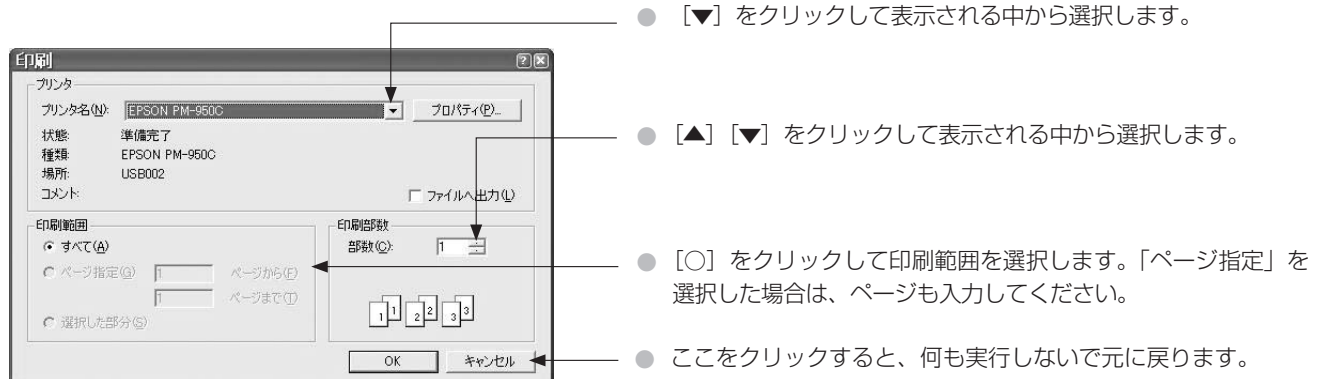
「ピクチャ」でファイルをエクスポートする

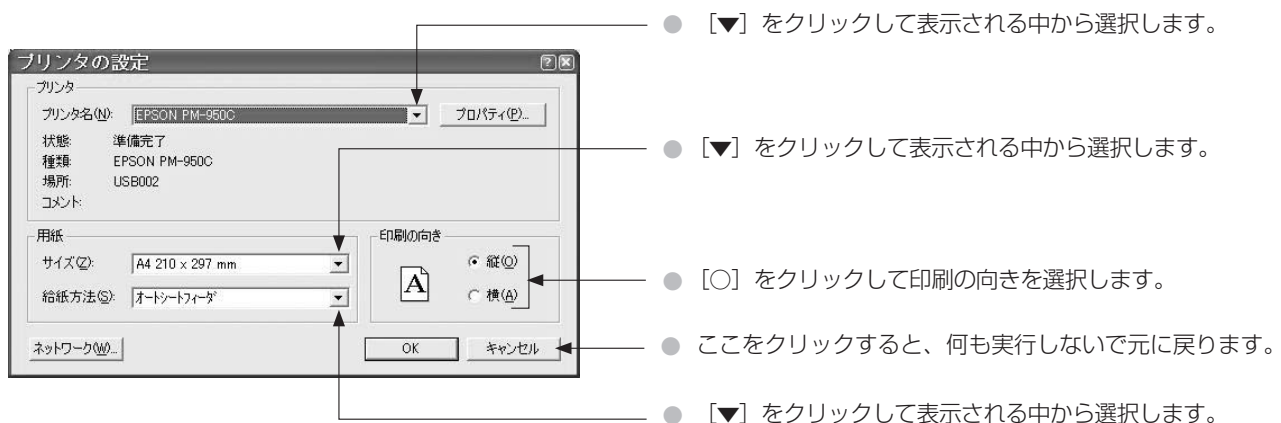
● 「ピクチャ」ウィンドウで、データを画像ファイルとして保存します。
① 「ピクチャ一覧」でエクスポートするファイルを選択します。
※ ファイルは、複数選択することができます。
② ［ファイル］メニューの［エクスポート］を選択します。
③ 「エクスポート」のウィンドウが表示されます。（下図）
④ ファイルを保存するフォルダを選択して、［OK］をクリックすると、ファイルを保存します。
※ フォルダを選択して、［新規フォルダ］をクリックすると、選択したフォルダの中に新しいフォルダを作成することができます。

● ここをクリックすると、何も実行しないで元に戻ります。

印刷のしかた

印刷する

① 印刷したいデータのある［機能ウィンドウ］を表示します。
② ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。または、[印刷］ボタンをクリックします。
③ ［印刷］ウィンドウが表示されます。（下図）
④ 「プリンタ名」「印刷範囲」「印刷部数」の各欄を選択または入力して、［OK］をクリックすると、印刷します。

● 印刷結果をパソコンの画面で確認するときは、［ファイル］メニューの[印刷プレビュー]を選択してください。または、［印刷プレビュー］ボタンをクリックしてください。
※ 印刷するプリンタ名や用紙の設定を変更するときは、［ファイル］メニューの［プリンタの設定］を選択してください。

プリンタの設定をする

● 印刷するプリンタ名や用紙の設定を変更します。
① ［ファイル］メニューの［プリンタの設定］を選択します。
② 「プリンタの設定」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「プリンタ名」「用紙」「印刷の向き」の各欄を選択して、［OK］をクリックすると、プリンタの設定を行います。

印刷プレビューを表示する

- 印刷イメージをパソコンの画面で確認することができます。

① ［ファイル］メニューの［印刷プレビュー］を選択します。または、［印刷プレビュー］ボタンをクリックします。
② 「印刷プレビュー」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ ボタンをクリックして、印刷や表示の拡大、縮小などを行います。

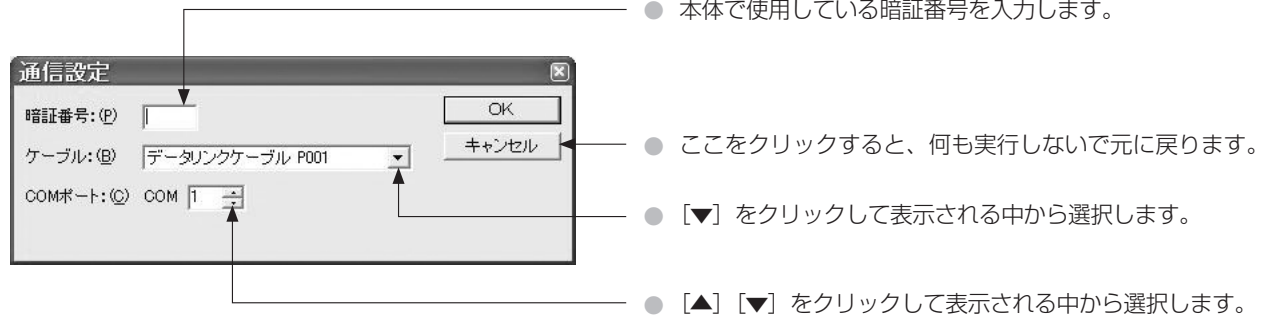
- ボタンについて
  - ［印刷］
    印刷をします。
  - ［次ページ］
    次のページを表示します。
  - ［前ページ］
    前のページを表示します。
  - ［2 ページ］
    2 ページを同時に表示します。
  - ［拡大］
    表示を拡大します。
  - ［縮小］
    表示を縮小します。
  - ［閉じる］
    印刷プレビューを終了します。

※ ボタンの表示は、ご使用のパソコンや OS のバージョンによって異なることがあります。

COM ポートを選択する

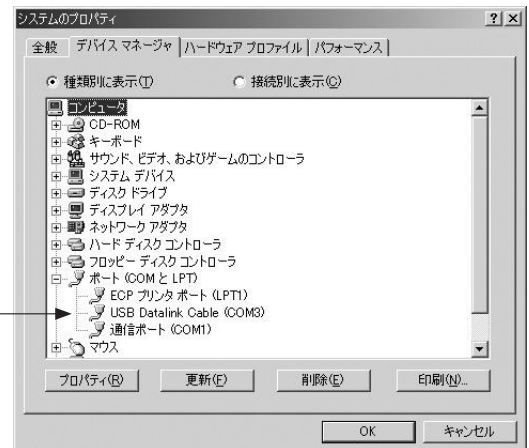
- 本体とパソコンの接続方法の選択、COM ポートの選択を行います。

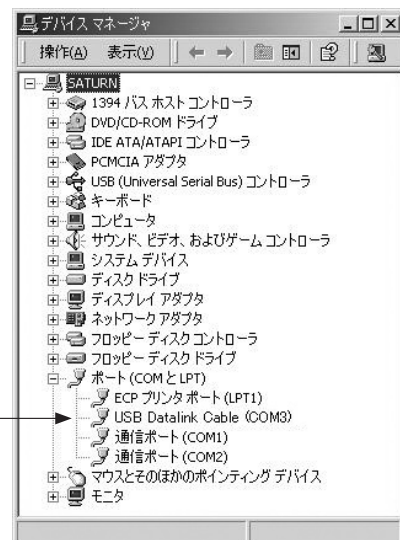
① ［設定］メニューの［通信設定］を選択します。
または、［通信設定］ボタンをクリックします。
② 「通信設定」のウィンドウが表示されます。（下図）
③ 「暗証番号」「COM ポート」の各欄を選択または入力します。
「ケーブル」欄で本体とパソコンの接続方法を選択します。
※ 「ケーブル」欄で「USB データリンクケーブル」を選択した場合の COM ポートの確認のしかたは、「COM ポートを確認する」をお読みください。
④ ［OK］をクリックすると、設定が終了します。
※ 「暗証番号」には、本体で使用している暗証番号を入力します。本体にお客様ご自身の暗証番号を登録していない場合は、入力しないでください。

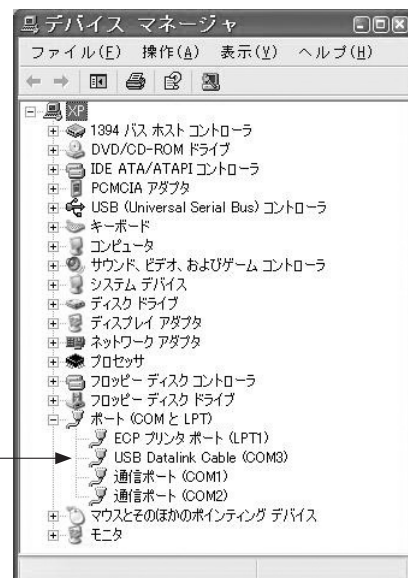
- COM ポートについての詳細は、パソコンの取扱説明書をお読みください。

COM ポートを確認する

- USB データリンクケーブルを使用するときの COM ポートの確認を行います。
  確認のしかたは、ご使用の OS によって異なります。
- COM ポートの確認をする前に、パソコンに USB データリンクケーブルを接続してください。

Windows 98 / Me の場合

① タスクバーの［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］と選択し、コントロールパネル内の「システム」をダブルクリックして、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
② 「ポート（COM と LPT）」の下に、「USB Datalink Cable（COMx）」が表示されていることを確認します。
（x は割りあてられた COM です。）

Windows 2000 Professional の場合

① タスクバーの［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］と選択し、コントロールパネル内の「システム」をダブルクリックして、「ハードウェア」タブをクリックします。
② ［デバイスマネージャ］をクリックします。
③ 「ポート（COM と LPT）」の下に、「USB Datalink Cable（COMx）」が表示されていることを確認します。
（x は割りあてられた COM です。）

Windows XP の場合

① タスクバーの［スタート］→［マイコンピュータ］と選択し、マイコンピュータ内の［システムのタスク］の中の［システム情報を表示する］をダブルクリックして、「ハードウェア」タブをクリックします。
※ 画面表示をクラシック表示に変更している場合は、次のように操作してください。
タスクバーの［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］と選択し、コントロールパネル内の「システム」をダブルクリックして、「ハードウェア」タブをクリックします。
② ［デバイスマネージャ］をクリックします。
③ 「ポート（COM と LPT）」の下に、「USB Datalink Cable（COMx）」が表示されていることを確認します。
（x は割りあてられた COM です。）

データ一覧の項目の表示／非表示を切り替える

- 機能ウィンドウに表示されているデータ一覧の項目の表示／非表示を切り替えることができます。

① 項目の表示／非表示を切り替える機能ウィンドウを表示します。
② ［表示］メニューの［一覧表示設定］を選択します。
③「一覧表示設定」のウィンドウが表示されます。（下図）
データ一覧の項目の状態が「表示／非表示」欄に表示されます。
④「項目」を選択して、［表示］または［非表示］をクリックします。このとき、表示／非表示が同じ状態の項目を複数選択して、状態を切り替えることができます。
⑤［OK］をクリックすると、データ一覧の項目表示が変わります。

「メモリダイヤル」の場合

- ここをクリックすると、何も実行しないで元に戻ります。

故障かな？

● 下記の点検をしても直らないときは、お買上げの販売店にお問い合わせください。

こんなとき	考えられる原因と直しかた
本体のディスプレイに「セツゾクヲカクニンクダサイ」と表示された。	● 本体から電池パックを取りはずして、もう一度装着しなおしてください。
パソコンにデータ転送に関するエラーメッセージが表示された。	●「通信ポートのオープンに失敗しました」 → 他のアプリケーションソフトで COM ポートをオープンにしている場合は、そのアプリケーションソフトを終了してください。 ●「通信に失敗しました」 「接続を確認してください」 →・ケーブルを接続したパソコンの COM ポートを「通信設定」で正しく選択してください。 ・ケーブルのコネクタを本体およびパソコンに確実に差し込んでください。 ・本体に装着している電池パックを十分に充電してください。 ・ケーブルに新しい単 3 形アルカリ乾電池を入れて使用してください。 ・本体の電源を入れなおしてください。 ・本体から電池パックを取りはずして、もう 1 度装着しなおしてください。 ・本体のディスプレイに「ｉモード接続中」と表示されている場合は、本体の「☎」を押して、ｉモードセンターへの接続を切ってください。 ●「通信が出来ませんでした」 → データに著作権が設定されている場合は、パソコンにデータを読み込むことはできません。